

第 3 章

学校施設の実態

1	学校を取り巻く状況	10
(1)	人口の推移	10
(2)	財政状況	11
2	学校施設の運営状況・活用状況	15
(1)	学校施設の保有状況	15
(2)	園児・児童・生徒数及び学級数の変化	17
(3)	学校施設の配置状況	21
(4)	学校施設の維持管理コスト	22
3	学校施設の老朽化状況	23
(1)	老朽化状況の評価方法	23
(2)	老朽化状況の実態	26

1 学校を取り巻く状況

(1) 人口の推移

本市の人口は、平成18年から令和元年までの間に8.3%減少しています。

また、小学校区別の人口は、いずれの校区でも減少しており、減少数では、「米ノ津東小校区」、「野田小校区」が多くなっていますが、減少率では、「桂島分校区」、「大川内小校区」、「上場小校区」、「蕨島小校区」、「江内小校区」が大きくなっています。

単位：人、世帯、人/世帯

中学校区	小学校区	2006	2008	2010	2012	2015	2019	14年増減	
		平18	平20	平22	平24	平27	令和元	増減数	増減率
出水中学校	出水小学校	6,244	6,026	5,876	5,776	5,844	5,636	△608	△9.7%
	西出水小学校	11,503	11,406	11,276	11,354	11,492	11,299	△204	△1.8%
	東出水小学校	5,642	5,575	5,463	5,560	5,630	5,603	△39	△0.7%
米ノ津中学校	米ノ津小学校	5,675	5,632	5,564	5,504	5,412	5,202	△473	△8.3%
	米ノ津東小学校	7,236	7,108	6,913	6,797	6,652	6,356	△880	△12.2%
	切通小学校	764	748	735	722	691	638	△126	△16.5%
米ノ津中学校 桂島分校	米ノ津東小学校 桂島分校	24	26	16	15	14	11	△13	△54.2%
鶴荘学園 後期課程	鶴荘学園前期課程	848	822	806	802	797	697	△151	△17.8%
	蕨島小学校	184	168	160	161	150	137	△47	△25.5%
大川内中学校	大川内小学校	898	851	779	715	654	604	△294	△32.7%
	上場小学校	221	206	208	200	179	158	△63	△28.5%
高尾野中学校	高尾野小学校	8,430	8,427	8,368	8,300	8,299	8,089	△341	△4.0%
	下水流小学校	3,121	3,128	3,087	3,066	3,125	3,065	△56	△1.8%
江内中学校	江内小学校	2,660	2,552	2,443	2,368	2,227	2,020	△640	△24.1%
野田中学校	野田小学校	4,849	4,684	4,528	4,388	4,269	3,971	△878	△18.1%
合 計	人 口	58,299	57,359	56,222	55,728	55,435	53,486	△4,813	△8.3%
	世 帯 数	24,050	24,112	24,190	24,486	24,903	25,346	1,296	5.4%
	世帯当たり人員	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	△0.3	△13.4%

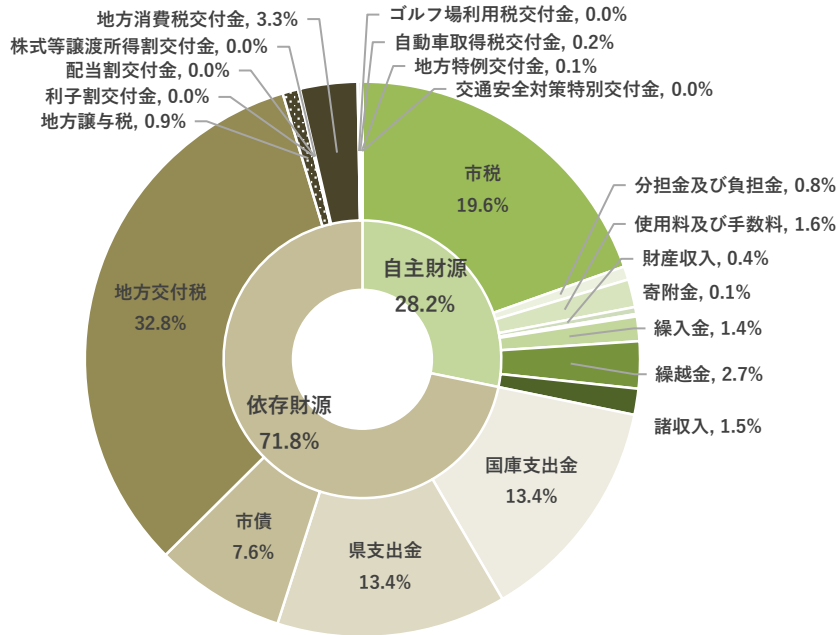
資料：住民基本台帳（各年5月1日現在）

(2) 財政状況

歳入（一般会計）の内訳

平成 29 年度決算の歳入額は 285 億 1,489 万円であり、前年度と比較すると 23 億 7,466 万円減少しています。

自主財源では「市税」が 19.6% に対して、依存財源では「地方交付税」が 32.8% と最も高くなっています。



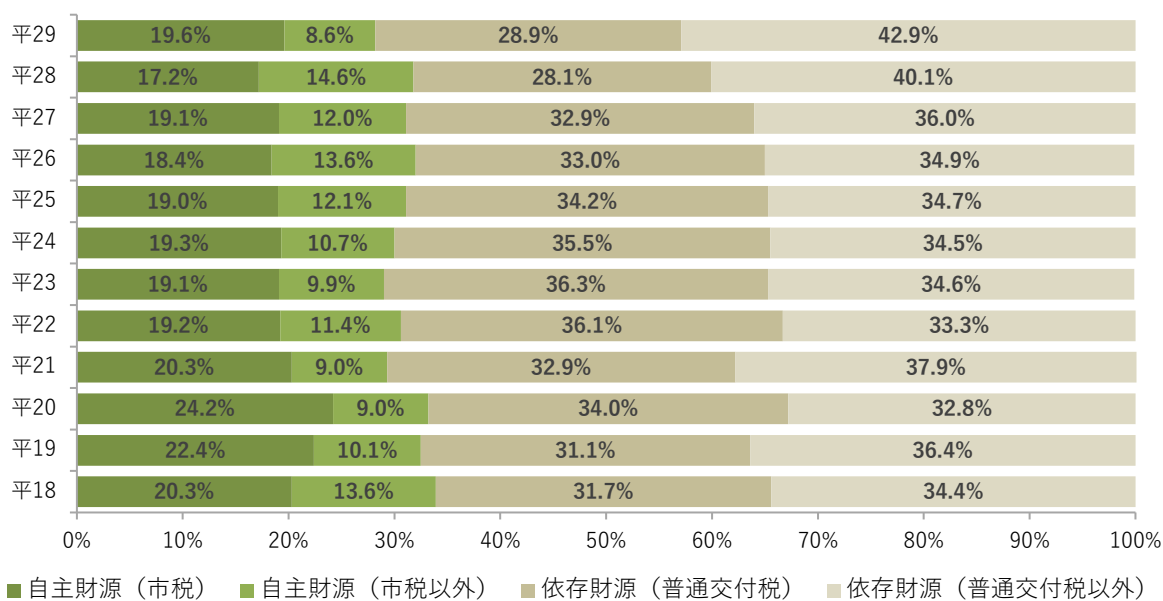
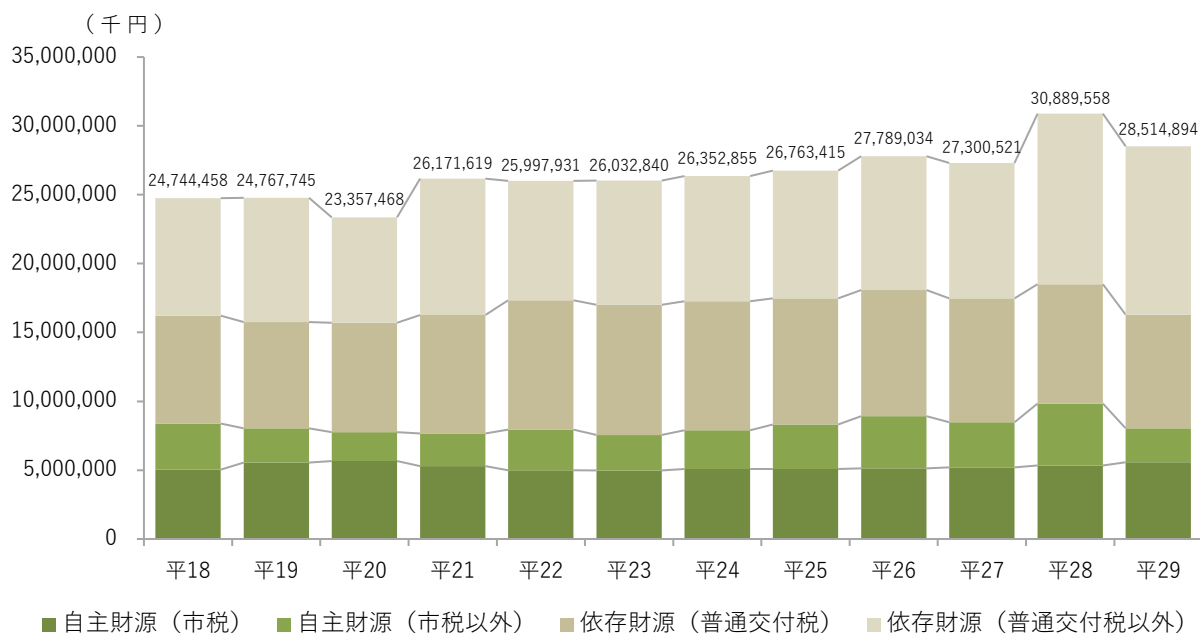
単位：千円

区分	款	平 2 9 年度		平 2 8 年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
自主財源	市税	5,582,836	28.2%	5,327,789	31.8%	255,047
	分担金及び負担金	223,034		203,719		19,315
	使用料及び手数料	462,584		464,536		△ 1,952
	財産収入	115,879		168,644		△ 52,765
	寄附金	40,333		30,017		10,316
	繰入金	407,474		1,817,710		△ 1,410,236
	繰越金	780,097		1,452,681		△ 672,584
	諸収入	432,111		372,091		60,020
依存財源	国庫支出金	3,814,221	71.8%	3,630,564	68.2%	183,657
	県支出金	3,810,274		2,147,642		1,662,632
	市債	2,167,500		4,156,700		△ 1,989,200
	地方交付税	9,355,668		9,864,789		△ 509,121
	地方譲与税	261,396		262,552		△ 1,156
	利子割交付金	8,440		3,301		5,139
	配当割交付金	10,283		8,219		2,064
	株式等譲渡所得割交付金	10,227		4,758		5,469
	地方消費税交付金	954,050		910,348		43,702
	ゴルフ場利用税交付金	8,760		8,056		704
	自動車取得税交付金	45,171		32,181		12,990
	地方特例交付金	18,383		16,877		1,506
	交通安全対策特別交付金	6,173		6,384		△ 211
合 計	28,514,894	100%	30,889,558	100%	△ 2,374,664	

出典：総務省決算カード

平成 18 年度以降の歳入の推移をみると、市税は平成 23 年度の約 50 億から徐々に増加傾向にあります。今後も人口減少が続く場合は、市税が減少していくと考えられます。

また、普通交付税については、平成 28 年度以降、合併算定替が縮小 (※)し、令和 3 年度で廃止になるため減少していきます。



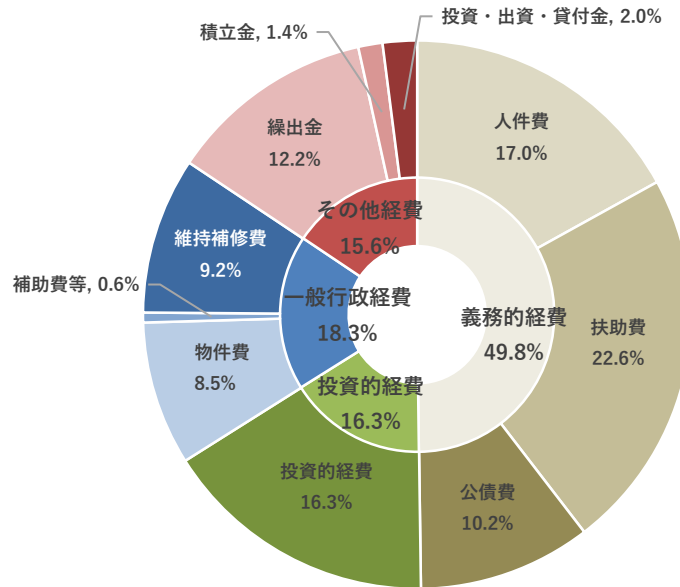
※ 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、必ずしも 100 とはならない。

(※)合併算定替の縮小とは、合併算定替 (旧団体で算定される交付税の合算) と一本算定 (新団体で算定される交付税) の差額を段階的に縮小すること。

歳出（一般会計）の内訳

平成 29 年度決算の歳出額は 273 億 1,665 万円で、前年度と比較すると 27 億 9,280 万円減少しています。

義務的経費では扶助費（22.6%）、一般行政経費では維持補修費（9.2%）、その他経費では繰出金（12.2%）の割合が最も多くなっています。



単位：千円

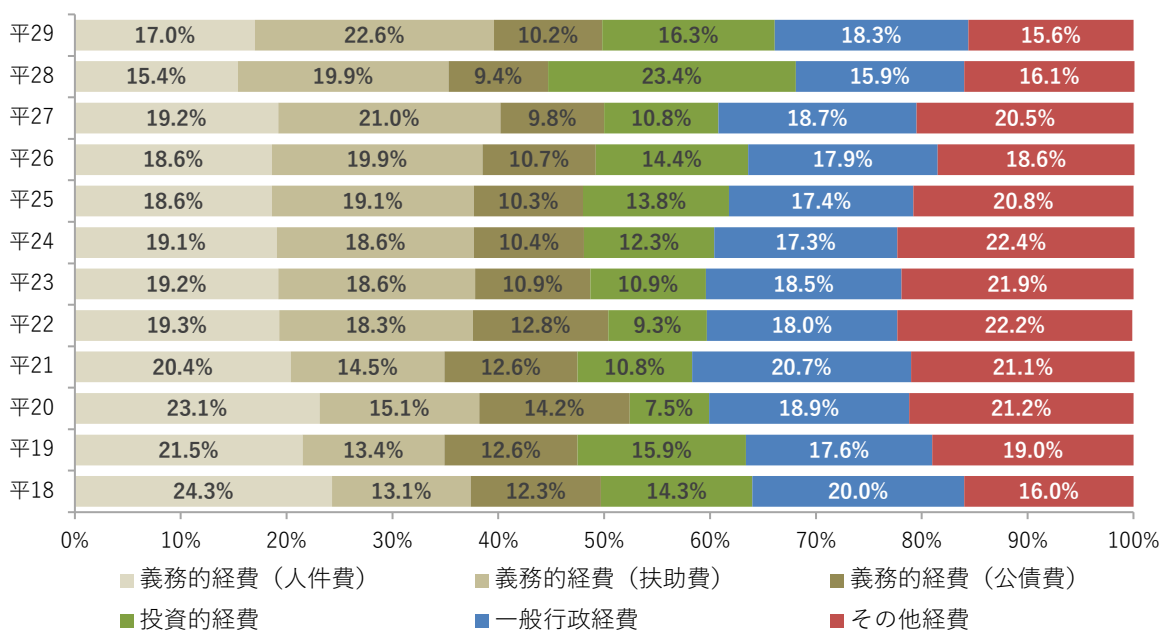
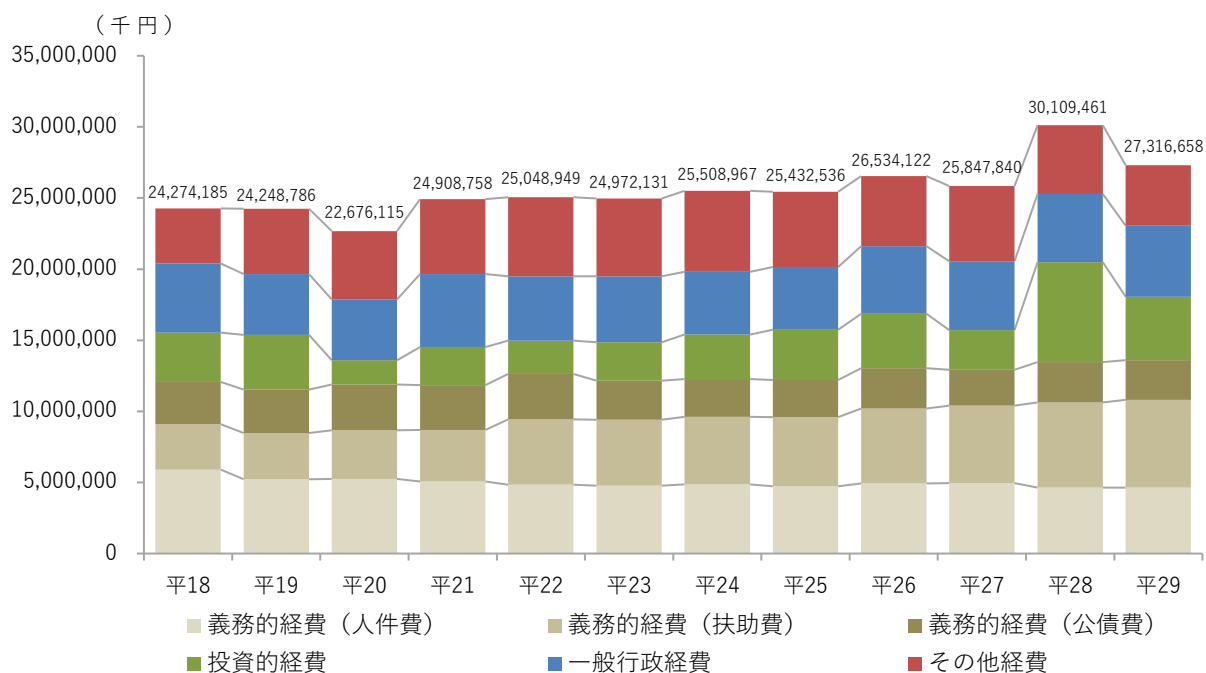
区分	款	平 2 9 年度		平 2 8 年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
義務的経費	人件費	4,633,318		4,639,774		△ 6,456
	扶助費	6,174,784	49.8%	5,995,980	44.7%	178,804
	公債費	2,790,249		2,815,272		△ 25,023
投資的経費	投資的経費	4,445,345	16.3%	7,034,124	23.4%	△ 2,588,779
一般行政経費	物件費	2,318,577		2,316,494		2,083
	補助費等	159,775	18.3%	162,325	15.9%	△ 2,550
	維持補修費	2,522,460		2,311,714		210,746
その他経費	繰出金	3,329,610		3,278,684		50,926
	積立金	390,178	15.6%	1,080,511	16.1%	△ 690,333
	投資・出資・貸付金	552,362		474,583		77,779
合 計		27,316,658	100%	30,109,461	100%	△ 2,792,803

出典：総務省決算カード

※ 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、必ずしも 100 とはならない。

平成 18 年度以降の歳出の推移をみると、人件費は減少傾向ですが、扶助費は増加傾向にあります。なお、平成 28 年度の投資的経費が飛躍的に増大しているのは本庁舎建設によるものです。

今後においては、超高齢社会の進展に伴う扶助費等の増加に加え、本庁舎建設、支所庁舎建設及び新焼却処分場整備に伴う公債費が増加していく見通しとなっています。



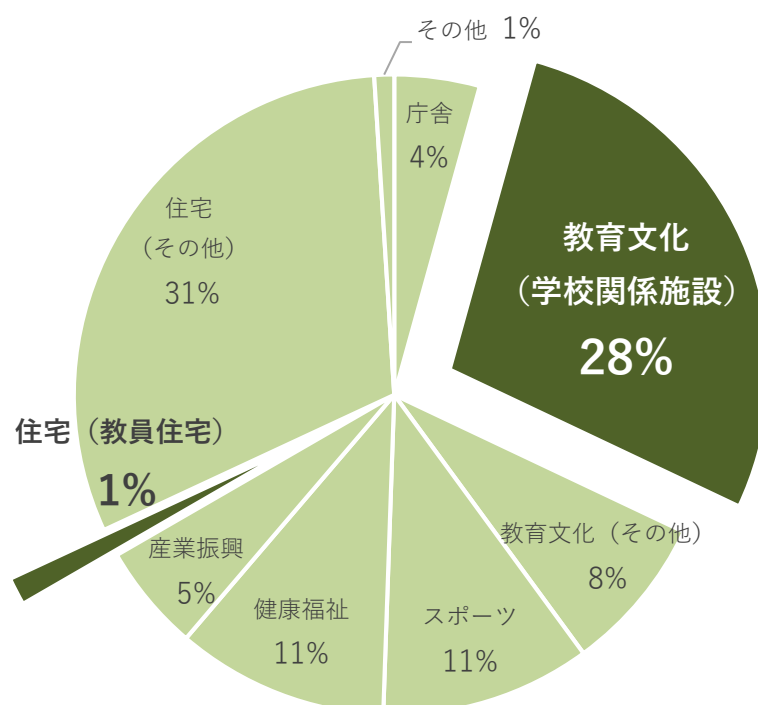
※ 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、必ずしも 100 とはならない。

2 学校施設の運営状況・活用状況

(1) 学校施設の保有状況

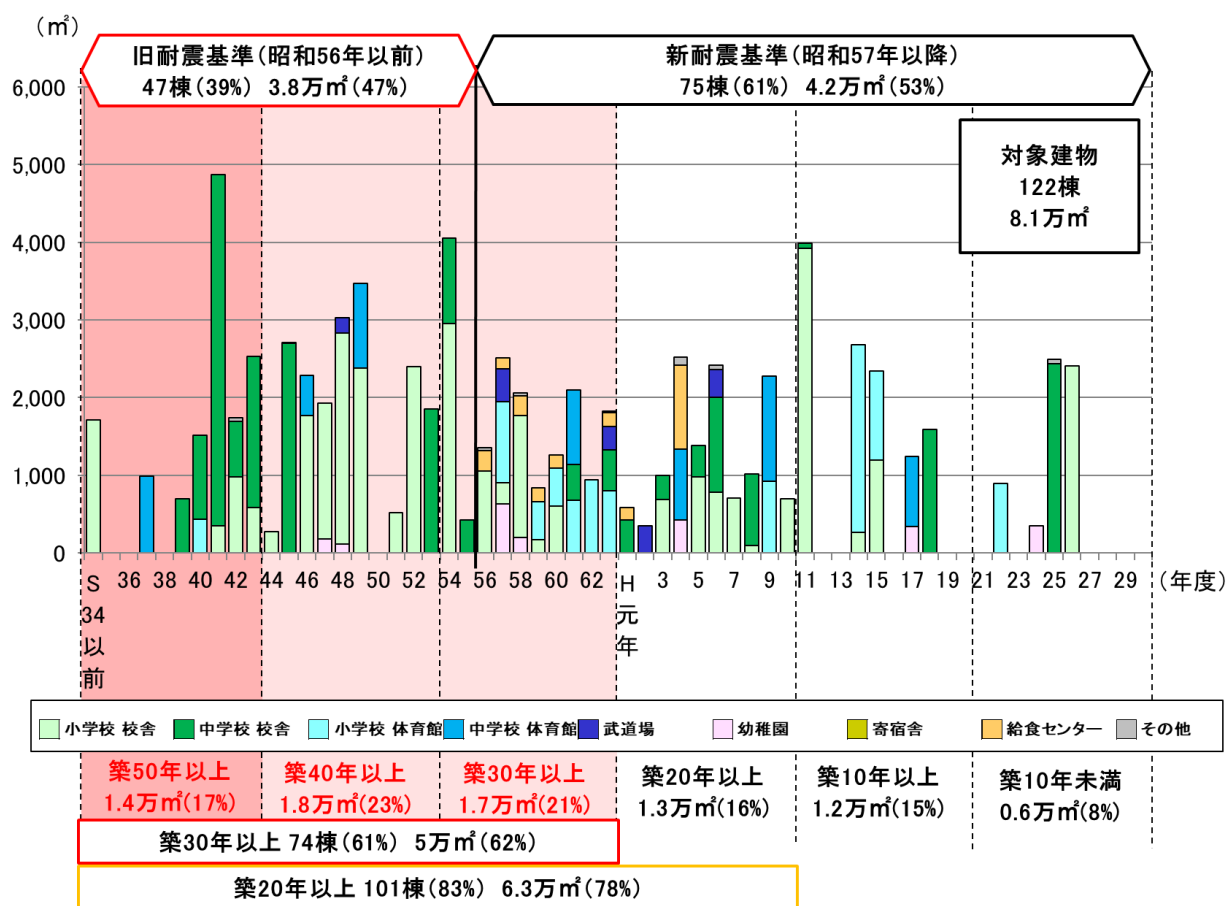
本市の公共施設は、「出水市公共施設等総合管理計画」によると全体で286施設、331,545㎡あり、最も面積が多いのは住宅（その他）で、次いで教育文化（学校関係施設）の91,900㎡（28%）となっています。本計画の対象施設である住宅（教員住宅）を含めると全体の約30%を占めています。

施設区分	件数	延床面積	
		実数（㎡）	比率（%）
庁舎	4	14,229	4
教育文化（学校関係施設）	32	91,900	28
教育文化（その他）	26	26,112	8
スポーツ	30	35,164	11
健康福祉	31	35,545	11
産業振興	15	17,849	5
住宅（教員住宅）	66	4,744	1
住宅（その他）	77	102,546	31
その他	5	3,456	1
総 計	286	331,545	100



学校施設の築年別建物（床面積 200 m²以下の小規模な建物及び教員住宅を除く。）状況として、旧耐震基準（昭和 56 年以前）によるものが 47 棟（39%）、床面積約 3.8 万 m²（47%）、新耐震基準（昭和 57 年以後）によるものが 75 棟（61%）、床面積約 4.2 万 m²（53%）となっており、新耐震基準での設計によるものの方が若干多くなっています。

経過年数では、築 50 年以上が 1.4 万 m²（17%）、築 40 年以上 50 年未満が 1.8 万 m²（23%）、築 30 年以上 40 年未満が 1.7 万 m²（21%）となっており、築 30 年以上を合わせると 74 棟（61%）、床面積 5 万 m²（62%）となっています。



※ 建物状況は、平成 30（2018）年を基準年としています。

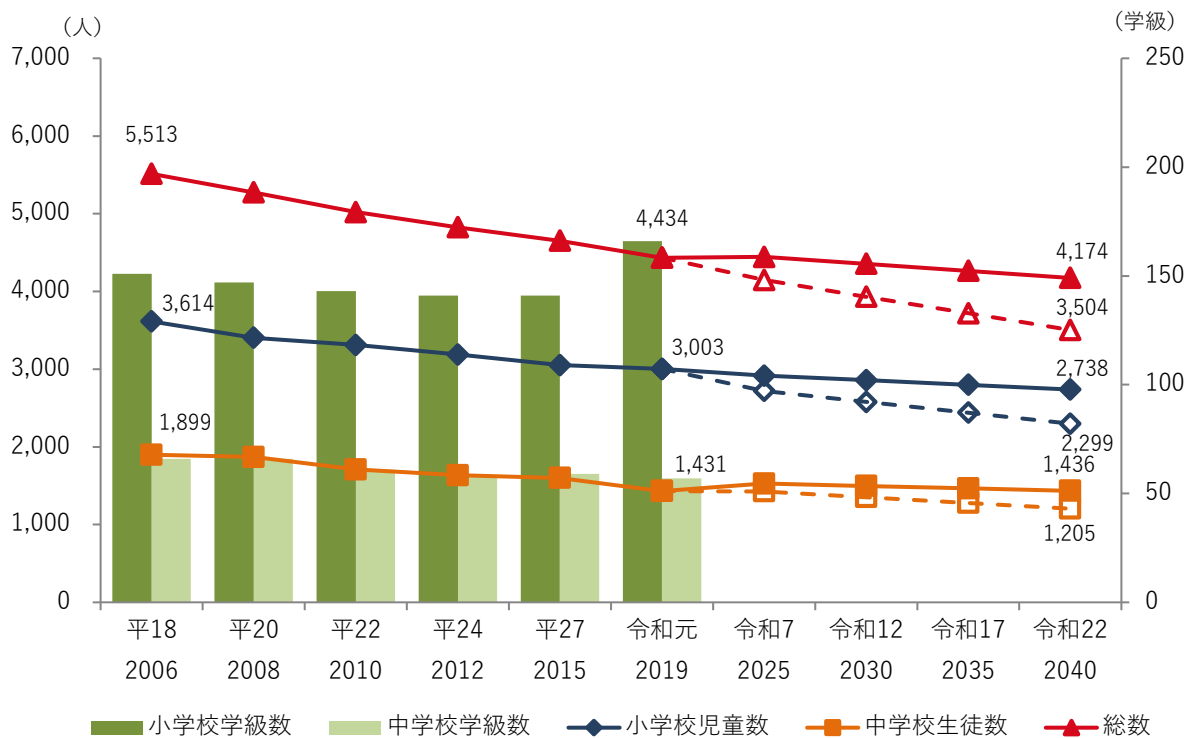
(2) 幼児・児童・生徒数及び学級数の変化

児童・生徒数及び学級数の変化

市内の小学校児童数、中学校生徒数は減少を続けており、平成 18 年の児童数 3,614 人が令和元年には 3,003 人となり、611 人(約 17%) の減少、同じく生徒数は、1,899 人から 1,431 人となり、468 人(約 25%) の減少となっています。

また、学級総数は小学校で増加、中学校では減少していますが、特別支援学級は、児童生徒数及び学級数ともに増加傾向にあります。

なお、令和 22 年までの児童生徒数の推計では、徐々に減少していくと予測されます。



※ 令和 2 年以降の児童生徒数については、実線は出水市人口ビジョン（平成 28 年 2 月）の目標値から推計、点線は国立社会保障・人口問題研究所による推計結果から推計

単位：人、学級

学校名		2006		2008		2010		2012		2015		2019		14か年増減	
		平18	平20	平22	平24	平27	令和元	増減数							
出水小学校	児童数	390	15	344	13	336	14	323	12	305	13	308	17	△ 82	2
	うち特別支援	4	1	4	1	3	1			3	1	18	4	14	3
西出水小学校	児童数	784	28	775	28	763	27	745	26	712	26	645	29	△ 139	1
	うち特別支援	6	2	10	2	10	2	18	3	23	4	50	9	44	7
東出水小学校	児童数	311	13	302	13	277	10	275	11	288	12	277	13	△ 34	0
	うち特別支援	2	1	2	1	2	1	2	1	3	1	10	2	8	1
米ノ津小学校	児童数	356	13	340	13	315	13	297	13	268	12	282	18	△ 74	5
	うち特別支援	2	1	2	1	2	1	5	1	16	3	42	7	40	6
米ノ津東小学校	児童数	449	15	416	16	421	16	405	16	364	15	334	19	△ 115	4
	うち特別支援	7	1	7	2	11	2	13	2	17	3	42	8	35	7
米ノ津東小学校 桂島分校	児童数	1	1											△ 1	△ 1
	うち特別支援													0	0
切通小学校	児童数	32	4	33	4	28	3	32	4	35	6	29	5	△ 3	1
	うち特別支援									1	1	4	2	4	2
鶴荘学園前期課程 (荘小学校)	児童数	42	5	40	4	35	5	29	4	39	4	34	5	△ 8	0
	うち特別支援											1	1	1	1
藤島小学校	児童数	9	3	8	2	6	1	11	3	17	3	21	3	12	0
	うち特別支援													0	0
大川内小学校	児童数	22	3	14	3	12	3	12	3	25	3	34	4	12	1
	うち特別支援													0	0
上場小学校	児童数	16	3	15	3	12	3	11	3	12	3	14	3	△ 2	0
	うち特別支援													0	0
高尾野小学校	児童数	540	18	503	19	513	19	491	20	490	18	508	22	△ 32	4
	うち特別支援	3	1	5	1	9	2	17	3	13	3	25	5	22	4
下水流小学校	児童数	239	10	227	11	244	12	231	11	221	9	223	10	△ 16	0
	うち特別支援	4	1	5	2	6	2	6	2	4	1	15	3	11	2
江内小学校	児童数	151	7	141	7	115	7	92	6	69	7	78	8	△ 73	1
	うち特別支援	1	1	1	1	1	1			1	1	8	2	7	1
野田小学校	児童数	272	13	247	11	235	10	235	9	207	10	216	10	△ 56	△ 3
	うち特別支援	2	1	2	1	1	1	5	1	7	2	9	2	7	1
小学校計	児童数	3,614	151	3,405	147	3,312	143	3,189	141	3,052	141	3,003	166	△ 611	15
	うち特別支援	31	10	38	12	45	13	66	13	88	20	224	45	193	35
出水中学校	生徒数	716	21	712	21	697	20	664	20	648	21	580	17	△ 136	△ 4
	うち特別支援	1	1	3	1	8	1	9	2	14	3	8	2	7	1
米ノ津中学校	生徒数	477	15	459	14	409	13	378	13	363	11	325	13	△ 152	△ 2
	うち特別支援	9	2	13	2	3	1	2	1	8	2	21	4	12	2
米ノ津中学校 桂島分校	生徒数			1	1									0	0
	うち特別支援													0	0
鶴荘学園後期課程 (荘中学校)	生徒数	33	3	19	3	22	3	33	3	23	3	38	3	5	0
	うち特別支援													0	0
大川内中学校	生徒数	24	3	27	4	23	4	15	2	23	3	23	3	△ 1	0
	うち特別支援			3	1	1	1							0	0
高尾野中学校	生徒数	413	13	421	13	357	12	355	11	372	13	340	13	△ 73	0
	うち特別支援	2	1	2	1	1	1	8	1	6	2	16	3	14	2
江内中学校	生徒数	72	4	67	3	68	3	67	3	57	3	33	4	△ 39	0
	うち特別支援	2	1									1	1	△ 1	0
野田中学校	生徒数	164	7	163	7	134	6	124	6	114	5	92	4	△ 72	△ 3
	うち特別支援	4	1	3	1	1	1	1	1	2	1	3	1	△ 1	0
中学校計	生徒数	1,899	66	1,869	66	1,710	61	1,636	58	1,600	59	1,431	57	△ 468	△ 9
	うち特別支援	18	6	24	6	14	5	20	5	30	8	49	11	31	5
合計	児童生徒数	5,513	217	5,274	213	5,022	204	4,825	199	4,652	200	4,434	223	△ 1,079	6
	うち特別支援	49	16	62	18	59	18	86	18	118	28	273	56	224	40

※ 鶴荘学園は平成29年4月開校

資料：出水市の教育（各年5月1日現在）

今後5年間の児童・生徒数の変化

児童数については、令和元年の児童数 3,003 人が令和6年には 2,848 人と推計され、155 人（約 5%）の減少となります。出水・西出水・東出水小校区は増加しますが、その他の校区は全て減少します。

一方、生徒数については、令和元年の生徒数 1,431 人から令和6年には 1,512 人と推計され、81 人（約 6%）の増加となっています。鶴荘学園校区のみ減少しますが、その他の校区は全て増加します。

なお、令和2年度以降の児童・生徒数は、住民基本台帳を基に推計しているため、特認校制度による児童・生徒数の増減は含まれておりません。

単位：人

学校名	2019	2020	2021	2022	2023	2024	5年後の 推計増減数
	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	
出水小学校	308	319	332	331	342	319	11
西出水小学校	645	631	667	688	688	692	47
東出水小学校	277	285	284	297	297	296	19
米ノ津小学校	282	301	287	291	281	272	△ 10
米ノ津東小学校	334	334	337	327	310	303	△ 31
米ノ津東小学校桂島分校	0	0	0	0	0	0	0
切通小学校	29	23	22	18	16	13	△ 16
鶴荘学園前期課程	34	30	26	23	23	20	△ 14
蕨島小学校	21	20	16	15	11	9	△ 12
大川内小学校	34	27	23	21	16	9	△ 25
上場小学校	14	12	8	5	5	5	△ 9
高尾野小学校	508	493	488	486	494	472	△ 36
下水流小学校	223	219	219	212	208	201	△ 22
江内小学校	78	79	73	67	64	55	△ 23
野田小学校	216	216	207	198	190	182	△ 34
小学校計	3,003	2,989	2,989	2,979	2,945	2,848	△ 155
出水中学校	580	587	594	590	582	626	46
米ノ津中学校	325	315	312	323	336	335	10
米ノ津中学校桂島分校	0	0	0	0	0	0	0
鶴荘学園後期課程	38	32	29	29	29	24	△ 14
大川内中学校	23	29	26	23	21	24	1
高尾野中学校	340	349	370	362	346	355	15
江内中学校	33	33	32	35	41	40	7
野田中学校	92	99	98	104	107	108	16
中学校計	1,431	1,444	1,461	1,466	1,462	1,512	81
合計	4,434	4,433	4,450	4,445	4,407	4,360	△ 74

園児数の変化

市内の市立幼稚園園児数は減少を続けており、平成 18 年の園児数 381 人が令和元年には 225 人となり、156 人（約 41%）の減少となっています。

働き方の多様化による保育需要の増加や少子化による幼児数の減少等により幼稚園需要は減少傾向にあると考えられます。

単位：人

幼稚園名	定員	2006	2008	2010	2012	2015	2019	14か年増減	
		平18	平20	平22	平24	平27	令和元	増減数	増減率
西出水小附属 紫翠幼稚園	(140)	140	140	120	104	91	85	△ 55	△39.3%
東出水小 附属幼稚園	(70)	70	70	57	54	43	48	△ 22	△31.4%
米ノ津小 附属幼稚園	(35)	35	35	22	30	27	20	△ 15	△42.9%
米ノ津東小 附属幼稚園	(105)	63	72	58	61	38	29	△ 34	△54.0%
切通小 附属幼稚園	(35)	6	2	9	8	8	8	2	33.3%
鶴荘学園 附属幼稚園	(35)	13	13	19	14	15	12	△ 1	△7.7%
野田小 附属幼稚園	(70)	54	37	47	38	36	23	△ 31	△57.4%
合計	(490)	381	369	332	309	258	225	△ 156	△40.9%

資料：出水市の教育（各年 5 月 1 日現在）

※ 鶴荘学園附属幼稚園は、平成 29 年 3 月 31 日まで荘小学校附属幼稚園です。

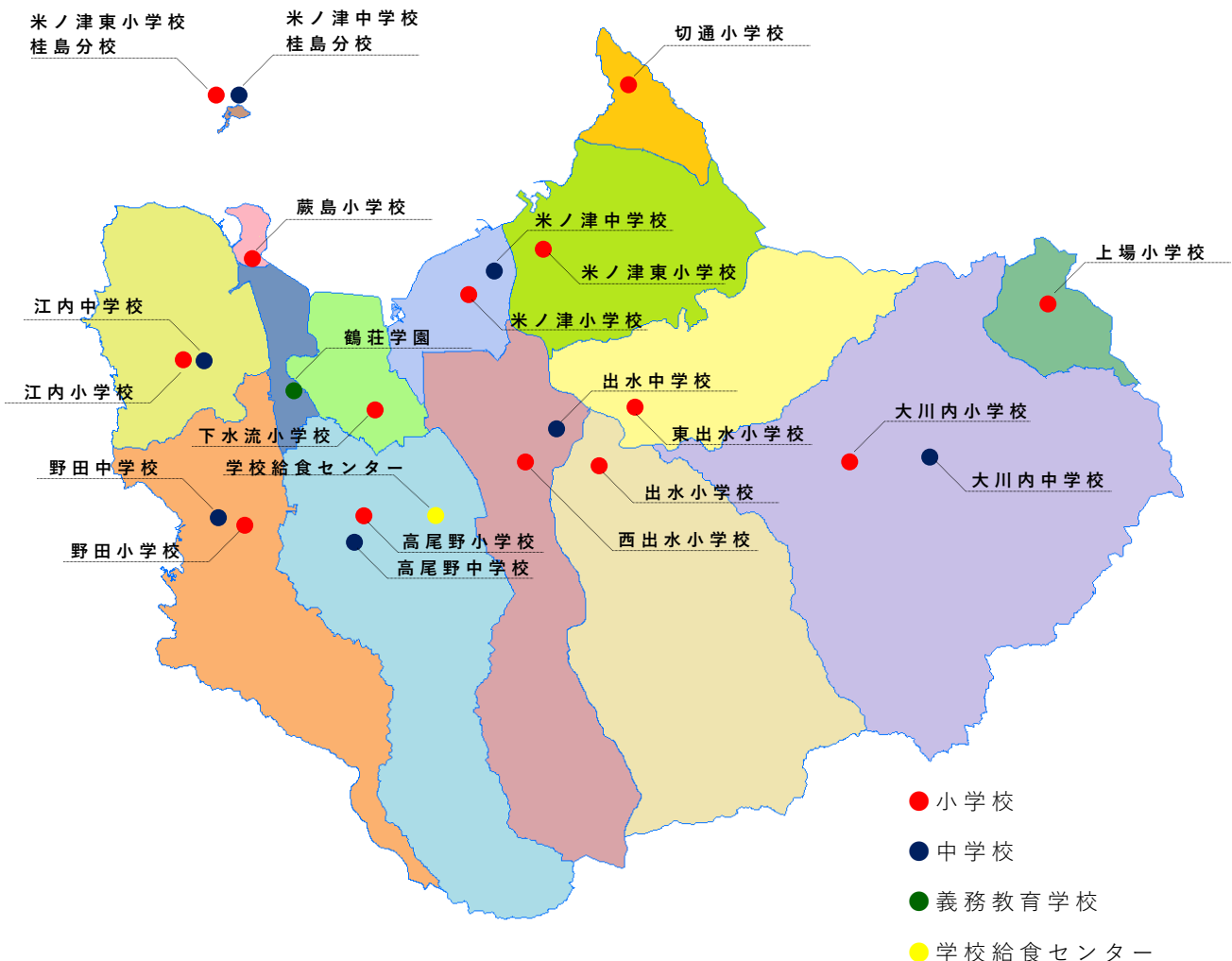
(3) 学校施設の配置状況

本市の面積は、330.06 km²（出水地区 228.31 km²、高尾野地区 71.15 km²、野田地区 30.6 km²）、東西への広がりは約 27 km、南北の広がりは約 23 km になります。

平成 29 年 3 月に荘小学校と荘中学校を閉校し、平成 29 年 4 月に義務教育学校鶴荘学園を開校しました。

平成 30 年 4 月には江内小学校・江内中学校を施設隣接型の小中一貫校とし、大川内小学校・大川内中学校を施設分離型の小中一貫校として指定しました。

なお、米ノ津東小学校桂島分校は平成 19 年 4 月から、米ノ津中学校桂島分校は平成 22 年 4 月から休校となっています。

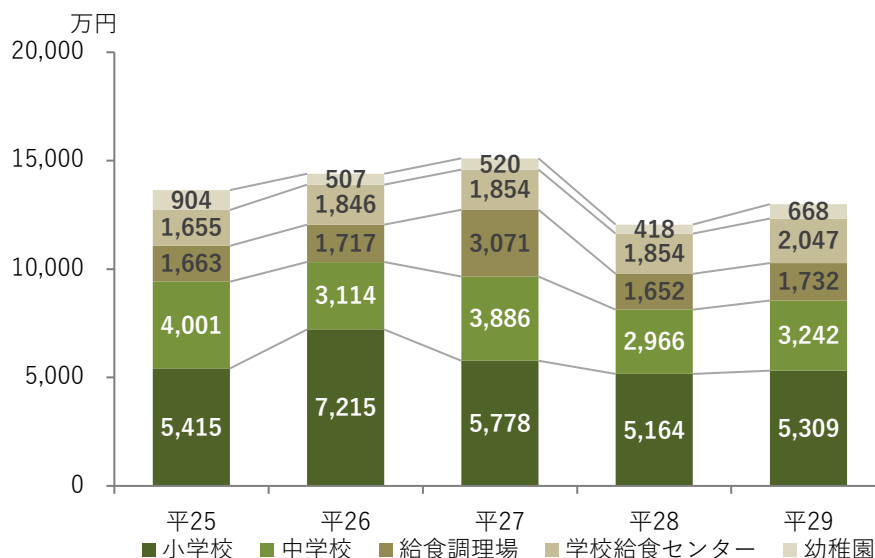


(4) 学校施設の維持管理コスト

平成25年度から平成29年度の5年間の維持管理コストの年平均は、小学校で5,776万円、中学校で3,442万円、給食調理場で1,967万円、学校給食センターで1,851万円、幼稚園で603万円程度となっています。

区分	内容	2013	2014	2015	2016	2017	5年平均
		平25	平26	平27	平28	平29	
小学校	維持修繕費	14,192,317	35,294,926	17,513,112	13,029,567	15,395,089	19,085,002
	光熱水費・委託費	39,959,335	36,853,849	40,262,081	38,611,914	37,693,655	38,676,167
	その他	3,397,843	3,286,950	3,356,695	3,459,363	3,492,176	3,398,605
	小計	54,151,652	72,148,775	57,775,193	51,641,481	53,088,744	57,761,169
中学校	維持修繕費	19,833,228	9,875,548	17,195,515	9,129,428	11,121,369	13,431,018
	光熱水費・委託費	20,178,570	21,261,614	21,665,214	20,526,109	21,297,333	20,985,768
	その他	2,018,792	2,055,400	2,073,317	2,184,308	2,067,720	2,079,907
	小計	40,011,798	31,137,162	38,860,729	29,655,537	32,418,702	34,416,786
給食調理場	維持修繕費	3,225,657	2,876,130	17,723,886	2,752,432	2,972,558	5,910,133
	光熱水費・委託費	13,407,048	14,293,313	12,990,404	13,762,832	14,348,376	13,760,395
	その他	0	0	0	0	0	0
	小計	16,632,705	17,169,443	30,714,290	16,515,264	17,320,934	19,670,527
学校給食センター	維持修繕費	83,475	432,318	287,960	662,517	599,832	413,220
	光熱水費・委託費	16,470,292	18,024,757	18,250,421	17,878,888	19,873,993	18,099,670
	その他	183,673	168,902	169,699	180,089	186,223	177,717
	小計	16,553,767	18,457,075	18,538,381	18,541,405	20,473,825	18,512,891
幼稚園	維持修繕費	6,764,256	2,487,780	2,752,882	1,578,264	3,785,980	3,473,832
	光熱水費・委託費	2,271,159	2,577,232	2,450,467	2,605,686	2,894,877	2,559,884
	その他	796,985	766,758	761,734	777,338	792,133	778,990
	小計	9,035,415	5,065,012	5,203,349	4,183,950	6,680,857	6,033,717
合計	136,385,337	143,977,467	151,091,942	120,537,637	129,983,062	136,395,089	

※ その他は、建物損害共済保険料、通信運搬費、法定検査料等です（給食調理場分は小中学校と分けることができないため、小中学校に含まれます。）。



3 学校施設の老朽化状況

(1) 老朽化状況の評価方法

施設の健全性・劣化状況を把握し評価するために、学校施設台帳、耐震診断結果を踏まえ、さらに屋根・屋上、外壁、設備機器等の実態を把握するため、小・中学校及び義務教育学校 22 校、幼稚園 7 園、学校給食センター 1 か所（合計 122 棟）について目視による現地調査を行いました。劣化度調査票を用い、建物ごとの「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上げ」、「電気設備」、「機械設備」について劣化度（A～D の 4 段階評価）を判定し、それらを基に総合的に施設の健全度について点数化しました。


評価基準

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月文部科学省）（以下「文科省解説書」という。）に準拠しますが、経年率により A（概ね良好）～D（劣化）の 4 段階評価を行います。

経年レベル	経年率	劣化レベル			
		a	b	c	d
I	20%未満	A	B	C	D
II	20%以上 70%未満	A	B	C	D
III	70%以上 120%未満	A	B	C	D
IV	120%以上	B	B	C	D

※ 経年率 = 経過年数 / 耐用年数

耐用年数は、建築物のライフサイクルコスト（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）及び建物の耐用年数ハンドブック（公益社団法人ロングライフビル推進協会編）に準拠

劣化判定区分		判定内容
 <p>良好</p> <p>劣化</p>	A	概ね良好 長期での対応
	B	部分的に劣化 中期（6～10年）での対応
	C	広域的に劣化 短期（3～5年）での対応
	D	早急に対応する必要がある 緊急（1～2年）での対応
		安全上、機能上、問題なし
		安全上、機能上、問題なし
		安全上、機能上、不具合の兆し
		安全上、機能上、問題あり （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）

健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。「部位の評価点」と「部位のコスト配分」を下表のように定め、健全度を100点満点で算定します。なお、「部位のコスト配分」は、文科省解説書に準拠します。

部位の評価点		部位のコスト配分	
評価	評価点	部位	コスト配分
A	100	1 屋根・屋上	5.1
B	75	2 外壁	17.2
C	40	3 内部仕上げ	22.4
D	10	4 電気設備	8.0
該当なし	50	5 機械設備	7.3
		計	60.0

健全度	総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60
------------	------------------------

【健全度計算例】

部位	評価		評価点	×	配分	=	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
5 機械設備	該当なし	→	50	×	7.3	=	365
							3,221
							÷ 60
							健全度 53

※ 健全度の小数点以下は切り捨てる。

劣化度調査票

建築仕上 劣化度調査票	施設番号				調査日

室名					写真No.	A 1	耐用年数		経年率	経年 レベル	
部位	床 壁 天井 開口 ほか						経過年数				
仕上 (状況)					劣化 判定		修繕更新履歴				
劣化レベル	a	b	c	d							
・機能障害	<input type="checkbox"/> 障害なし	<input type="checkbox"/> 障害小	<input type="checkbox"/> 障害中	<input type="checkbox"/> 障害大							
・劣化(仕上)	<input type="checkbox"/> 健全	<input type="checkbox"/> 軽度	<input type="checkbox"/> 中度	<input type="checkbox"/> 重度							
・劣化(躯体)	<input type="checkbox"/> 損傷なし	<input type="checkbox"/> 損傷小	<input type="checkbox"/> 損傷中	<input type="checkbox"/> 損傷大							
・安全性	<input type="checkbox"/> 安全	<input type="checkbox"/> 危険小	<input type="checkbox"/> 危険中	<input type="checkbox"/> 危険大							
・遵法性	<input type="checkbox"/> 適合	<input type="checkbox"/> 不適合小	<input type="checkbox"/> 不適合中	<input type="checkbox"/> 不適合大							
・点検記録	<input type="checkbox"/> 指摘なし	<input type="checkbox"/> 指摘小	<input type="checkbox"/> 指摘中	<input type="checkbox"/> 指摘大							
・その他	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり小	<input type="checkbox"/> あり中	<input type="checkbox"/> あり大							

電気設備 劣化度調査票	施設番号				調査日

室名					写真No.	E 1	耐用年数		経年率	経年 レベル	
機器・部位 対象設備							経過年数				
状況					劣化 判定		修繕更新履歴				
劣化レベル	a	b	c	d							
・機能障害	<input type="checkbox"/> 障害なし	<input type="checkbox"/> 障害小	<input type="checkbox"/> 障害中	<input type="checkbox"/> 障害大							
・劣化(仕上)	<input type="checkbox"/> 健全	<input type="checkbox"/> 軽度	<input type="checkbox"/> 中度	<input type="checkbox"/> 重度							
・劣化(躯体)	<input type="checkbox"/> 損傷なし	<input type="checkbox"/> 損傷小	<input type="checkbox"/> 損傷中	<input type="checkbox"/> 損傷大							
・安全性	<input type="checkbox"/> 安全	<input type="checkbox"/> 危険小	<input type="checkbox"/> 危険中	<input type="checkbox"/> 危険大							
・遵法性	<input type="checkbox"/> 適合	<input type="checkbox"/> 不適合小	<input type="checkbox"/> 不適合中	<input type="checkbox"/> 不適合大							
・点検記録	<input type="checkbox"/> 指摘なし	<input type="checkbox"/> 指摘小	<input type="checkbox"/> 指摘中	<input type="checkbox"/> 指摘大							
・その他	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり小	<input type="checkbox"/> あり中	<input type="checkbox"/> あり大							

機械設備 劣化度調査票	施設番号				調査日

室名					写真No.	M 1	耐用年数		経年率	経年 レベル	
機器・部位 対象設備							経過年数				
状況					劣化 判定		修繕更新履歴				
劣化レベル	a	b	c	d							
・機能障害	<input type="checkbox"/> 障害なし	<input type="checkbox"/> 障害小	<input type="checkbox"/> 障害中	<input type="checkbox"/> 障害大							
・劣化(仕上)	<input type="checkbox"/> 健全	<input type="checkbox"/> 軽度	<input type="checkbox"/> 中度	<input type="checkbox"/> 重度							
・劣化(躯体)	<input type="checkbox"/> 損傷なし	<input type="checkbox"/> 損傷小	<input type="checkbox"/> 損傷中	<input type="checkbox"/> 損傷大							
・安全性	<input type="checkbox"/> 安全	<input type="checkbox"/> 危険小	<input type="checkbox"/> 危険中	<input type="checkbox"/> 危険大							
・遵法性	<input type="checkbox"/> 適合	<input type="checkbox"/> 不適合小	<input type="checkbox"/> 不適合中	<input type="checkbox"/> 不適合大							
・点検記録	<input type="checkbox"/> 指摘なし	<input type="checkbox"/> 指摘小	<input type="checkbox"/> 指摘中	<input type="checkbox"/> 指摘大							
・その他	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり小	<input type="checkbox"/> あり中	<input type="checkbox"/> あり大							

(2) 老朽化状況の実態

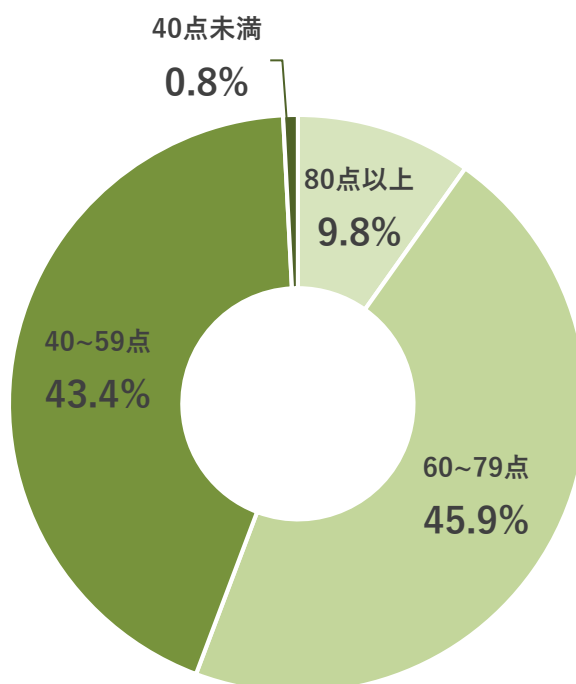
実態調査による劣化状況評価を行い、建物の健全度について総合的に判断しました。

小学校では、68棟のうちの31棟（45.6%）、中学校では、40棟のうちの20棟（50%）、幼稚園では、7棟のうち3棟（42.9%）が健全度60点未満となりました。

また、文科省解説書では健全度40点未満の建物は、優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましいとされており、劣化状況評価を行った建物全122棟のうちの小学校1棟のみが該当しました。


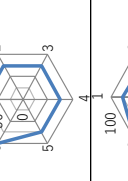

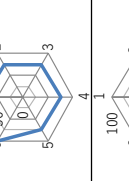

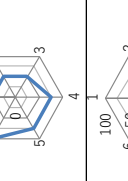

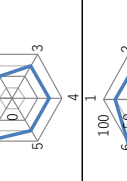

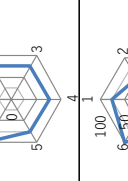

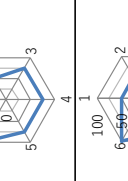

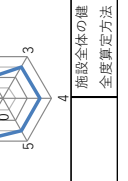


施設区分	施設数	棟数 (200㎡以上)	健全度80点以上		健全度60~79点		健全度40~59点		健全度40点未満	
			棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合
小学校	14校	68棟	6棟	8.8%	31棟	45.6%	30棟	44.1%	1棟	1.5%
中学校	7校	40棟	3棟	7.5%	17棟	42.5%	20棟	50.0%	0棟	0%
義務教育学校	1校	6棟	0棟	0%	6棟	100%	0棟	0%	0棟	0%
幼稚園	7園	7棟	2棟	28.6%	2棟	28.6%	3棟	42.9%	0棟	0%
学校給食センター	1か所	1棟	1棟	100%	0棟	0%	0棟	0%	0棟	0%
全 体		122棟	12棟	9.8%	56棟	45.9%	53棟	43.4%	1棟	0.8%






※ 建物状況は、平成30（2018）年を基準年としています。





劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	①	施設名	出小学校	評価基準	劣化度概要				施設全体の健全度	備考 (緊急対応項目)
通学区	建物名	階数	延床面積(m ²)						建築年度西暦	耐震安全性	診断補強	外観		
1	北校舎 管理・普通・特別	R 3	1,683	1973	新	済		1 屋根・屋上	アスファルト防水(保護層あり)	C		48	長寿命化 大規模改修工事が必要。	・屋上、パラペット窓木の破損・欠落、鋼製手摺の腐食、防落・軒裏モルタルの剥落・鉄筋の露出ほか認められる。 ・西面屋外階段部のコンクリートブロックの陥没が認められる。
				2 外壁				モルタル下地吹付塗装・鋼製建具	C					
				3 内部仕上				フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB	C					
				4 電気設備				電力設備・通信設備・屋外設備	B					
				5 機械設備				給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B					
				6 躯体 N/m ²				23.4 判定区分 N/m ² ≧17.6	A					
2	西校舎 普通・特別	R 2	762	1974	旧	済		1 屋根・屋上	露出防水(シート防水)	C		48	長寿命化 大規模改修工事が必要。	・防火戸、防火シャッターの開閉不良が認められる。
				2 外壁				モルタル下地吹付塗装・鋼製建具	C					
				3 内部仕上				フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB	C					
				4 電気設備				電力設備・通信設備・屋外設備	B					
				5 機械設備				給排水衛生設備・空調換気設備	B					
				6 躯体 N/m ²				24.3 判定区分 N/m ² ≧17.6	A					
3	南校舎 普通・特別	R 2	280	1982	新	-		1 屋根・屋上	露出防水(シート防水)	C		61	長寿命化 利用目的変更確認の上での、屋上防水改修、外壁改修工事が必要。	・特になし。
				2 外壁				モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
				3 内部仕上				フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB	B					
				4 電気設備				電力設備・通信設備	B					
				5 機械設備				給排水設備	B					
				6 躯体 N/m ²				調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●					
4	中央校舎 普通・特別 渡り廊下を含む	R 2	984	2014	新	-		1 屋根・屋上	鋼放置	B		97	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。
				2 外壁				コンクリート打放し吹付塗装・アルミ製建具	A					
				3 内部仕上				フローリング・木製塗装仕上・化粧PB	A					
				4 電気設備				電力設備・通信設備・屋外設備	A					
				5 機械設備				給排水衛生設備・換気設備	A					
				6 躯体 N/m ²				調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●					
5	屋内運動場	R 1	899	2010	新	-		1 屋根・屋上	鋼板瓦葺葺	A		100	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。
				2 外壁				コンクリート打放し吹付塗装・アルミ製建具	A					
				3 内部仕上				フローリング・合板塗装仕上・木毛板葺	A					
				4 電気設備				電力設備・通信設備・屋外設備	A					
				5 機械設備				給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	A					
				6 躯体 N/m ²				調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●					
6	給食室	S 1	161	1985	新	-		1 屋根・屋上	露出防水(シート防水)・鋼板折反葺	C		65	長寿命化 屋上防水改修、外壁改修工事が必要。	・特になし。
				2 外壁				A L C 下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
				3 内部仕上				塗床・吹付塗装・ケイカル板下地塗装	B					
				4 電気設備				電力設備・通信設備・屋外設備	A					
				5 機械設備				給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・厨房設備	B					
				6 躯体 N/m ²				調査対象外 判定区分 N/m ² 該当	●					
施設全体の延床面積 (m ²)									施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積				施設全体の健全度 × 延床面積	
4,769									D (10) 健全度 = 総和 (部位の評価点 × 部位のコスト分配) ÷ 60				合計 (60.0)	
算定方法									部位のコスト分配 屋根・屋上 (5.1) 外壁 (17.2) 内部仕上 (22.4) 電気設備 (8.0) 機械設備 (7.3)					


劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	②	施設名	西出水小学校	評価基準	劣化度概要				健全度	施設全体の健全度	備考 (緊急対応項目)
通し番号	建物名	構造区分	延床面積(m ²)						建築年度西暦	前年度西暦	診断補強基準	安全性			
7	南校舎 管理・特別	R	446	1994	—	済		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	B		51	長寿命化 構造体の耐用年限を明確にした上で、改修工事が必要。	・分電盤に絶縁不良回路が認められる。	
				S29	旧	済		2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
64	—	—	3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB	C										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	14.3 判定区分N/mm ² ≧ 13.5	B										
8	北校舎西 普通	R	777	1971	—	済		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	B		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。 ※1997年(平成9年)大規模改修工事済み。	
				S46	旧	済		2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B					
47	—	—	3 内部仕上	フローリング・合板下地塗装・化粧PB	B										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備・太陽光発電設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² ≧ 17.6	●										
9	北校舎東 普通	R	701	1998	—	—		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	B		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。	
				H10	新	—		2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B					
—	—	—	3 内部仕上	フローリング・合板下地塗装・化粧PB	B										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² ≧ 17.6	●										
10	中央校舎 管理・普通・特別 渡り廊下を含む	R	1,751	1972	—	—		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	C		48	長寿命化 大規模改修工事が必要。	・屋上防水の損傷が認められる。 ・庇裏のコンクリートの落下が認められる。	
				S47	旧	—		2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
46	—	—	3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB	C										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	23.3 判定区分N/mm ² ≧ 17.6	A										
11	校舎・クラブハウス	R	691	1991	—	—		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	C		61	長寿命化 屋上・屋根改修工事・外壁改修工事が必要。	・特になし。	
				H3	新	—		2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
27	—	—	3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・屋外設備	B										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² ≧ 17.6	●										
12	西校舎 普通	S	91	1996	—	—		1 屋根・屋上	シングル葺	B		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。	
				H8	新	—		2 外壁	押出成形セメント板・アルミ製建具	B					
22	—	—	3 内部仕上	フローリング・穴あき合板・化粧PB	B										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² ≧ 17.6	●										
13	屋内運動場	R	945	1987	—	—		1 屋根・屋上	鋼板ハゼ葺	B		64	長寿命化 屋上・屋根改修工事・外壁改修工事が必要。	・特になし。	
				S62	新	—		2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
31	—	—	3 内部仕上	フローリング・穴あき合板・木毛板現し	B										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² ≧ 17.6	●										
14	給食堂	S	178	1984	—	—		1 屋根・屋上	露出防水(シート防水)	C		61	長寿命化 屋上・屋根改修工事・外壁改修工事が必要。	・特になし。	
				S59	新	—		2 外壁	押出成形セメント板・アルミ製建具	C					
34	—	—	3 内部仕上	漆床・モルタル下地塗装・ケイカル板下地塗装	B										
—	—	—	4 電気設備	電力設備・通信設備	B										
—	—	—	5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・厨房設備	B										
—	—	—	6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² ≧ 17.6	●										
施設全体の延床面積(m ²)		5,580		健全度の算定方法		総合評価点 A(100) B(75) C(40) D(10) 健全度 = 総和(部位の総合評価点×部位のコスト分配) ÷ 60		部位のコスト分配 屋根・屋上(5.1) 外壁(17.2) 内部仕上(22.4) 電気設備(8.0) 機械設備(7.3) 合計(60.0)		施設全体の健全度 = 総和(各施設の健全度×延床面積) ÷ 施設全体の延床面積					

劣化度調査結果 (概要版)				施設整理番号	③	施設名	施設安全性能 耐震診断補強	東出水小学校 外観	評価基準	劣化度概要			施設全体の健全度	57	備考 (緊急対応項目)						
通達区分	建物名	階数	延床面積 (㎡)							建築年度西暦 / 建築年度和暦 / 経過年数 (年)	躯体 N/mm ²	躯体 N/mm ²				躯体 N/mm ²	躯体 N/mm ²	躯体 N/mm ²	躯体 N/mm ²	躯体 N/mm ²	躯体 N/mm ²
15	西校舎	2	517	1976	旧	済		A: 概ね良好 B: 部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし) C: 広域的に劣化 (安全上、機能上、不具合発生の見直し) D: 緊急に対応する必要のある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に影響を与えている)	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	100 60 50 40 30 20	48	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・屋外階段裏のコンクリートの 腐蝕、鉄筋の発露が認められ る。								
	普通	42	29.3	判定区分 N/mm ² ≥17.6	A	C								Asファアルト防水 (保護層あり) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備・変電設備・屋外設備 給排水衛生設備							
16	北校舎	2	1,298	1977	旧	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	100 60 50 40 30 20	48	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・庇裏のコンクリートの腐蝕、 鉄筋の発露が認められる。									
	管理・特別	41	13.1	判定区分 N/mm ² <13.5	C	C							Asファアルト防水 (保護層あり) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・空調換気設備								
17	南校舎 渡り廊下を含む	2	1,198	2003	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	100 60 50 40 30 20	72	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。	・内部階段床仕上材にひび割 れ、欠損が認められる。 ・2階渡り廊下階段部のノンス リップタイルに欠損が認められ る。									
	管理・普通	15	調査対象外	判定区分 N/mm ² ≥17.6	C	C							鋼板瓦葺 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備								
18	屋内運動場	1	688	1982	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	100 60 50 40 30 20	58	長寿命化 屋根改修工事な ど劣化状況に合 わせて改修工事 が必要。	・特になし。									
				36	調査対象外	判定区分 N/mm ² ≥17.6							C	C	鋼板瓦葺 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・合板塗装仕上・木毛版処理 電力設備・通信設備 給排水衛生設備						
19	給食室	1	179	1988	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	100 60 50 40 30 20	61	長寿命化 屋上・屋根改 修工事、外壁 改修工事が必 要。	・出入口階段部のノンスリップ タイルに欠損が認められる。									
				30	調査対象外	判定区分 N/mm ²							C	C	Asファアルト防水 (シート防水) ALC下地吹付塗装・アルミ製建具 塗装・ケイカル板下地塗装 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・空調換気設備・厨房設備						
施設全体の延床面積 (㎡)										施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積			3,880								
施設整理番号										総合評価点 A (100) B (75) C (40) D (10) 健全度 = 総和 (部位の総合評価点 × 部位のコスト分配) ÷ 60			合計 (60.0)								
施設整理番号										部位のコスト分配 屋根・屋上 (5.1) 外壁 (17.2) 内部仕上 (22.4) 電気設備 (8.0) 機械設備 (7.3)											


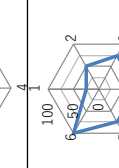

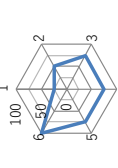

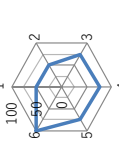

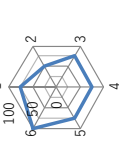

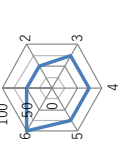
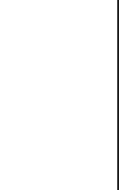
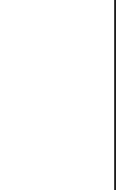
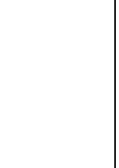
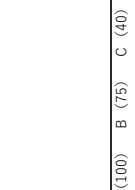


劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	④	施設名	米ノ津小学校	外観	劣化度概要		総合評価	総合評価レダーチャート	健全度	施設全体の健全度	53	備考 (緊急対応項目)
建物名	構造区分	階数	延床面積(m ²)						前年度西暦	前年度和暦						
20	南校舎	R 2	1,040	1973	旧	劣化度調査結果(概要版)	米ノ津小学校		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	D		41	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・ 屋上防水の損傷が認められる。 ・ 庇下のコンクリートの落下が認められる。 ・ 屋上、パラペット笠木の破損・欠落が認められる。 ※1993年(平成5年)大規模改修工事済み。	
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				C							
				3 内部仕上	フローリング・六あき合板・化粧PB				C							
21	北校舎	R 2	1,453	1974	旧	劣化度調査結果(概要版)	米ノ津小学校		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	C		48	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・ 屋上、庇下のコンクリート手摺の脱落が認められる。 ・ 屋上、パラペット笠木の破損・欠落が認められる。 ・ 内壁にクラック、床摩擦等が見られる。 ※1994年(平成6年)大規模改修工事済み。	
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				C							
				3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB				C							
22	東校舎	S 1	162	1974	旧	劣化度調査結果(概要版)	米ノ津小学校		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	C		61	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・ 換気設備(給排気)を速やかに計画する必要がある。 ※1993年(平成5年)大規模改修工事済み。	
				2 外壁	押出成形セメント板・アルミ製建具				C							
				3 内部仕上	ビニル床タイル・モルタル下地塗装・化粧PB				B							
23	屋内運動場	R 1	919	1997	新	劣化度調査結果(概要版)	米ノ津小学校		1 屋根・屋上	鋼板瓦葺	B		75	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。	・ 特になし。	
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				B							
				3 内部仕上	フローリング・六あき合板・水毛庇現し				B							
24	給食堂	S 1	260	1981	旧	劣化度調査結果(概要版)	米ノ津小学校		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	C		48	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・ 外部引込開閉器蓋の腐食が認められる。	
				2 外壁	押出成形セメント板・アルミ製建具				C							
				3 内部仕上	モルタル・モルタル下地塗装・ケイカル板下地塗装				C							


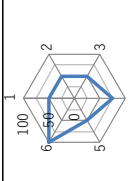

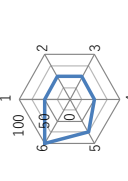

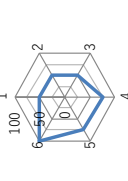

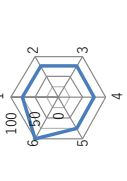


劣化度調査結果 (概要版)				建設年度西暦 運業年度和暦 経過年数(年)	⑤	施設名 耐震安全性 基準 診断補強	米ノ車東小学校 外観	評価 基準	劣化度概要				施設全体の健全度	60	備考 (緊急対応項目)			
通し番号	建物名	階 数 区分	延床面積 (㎡)						仕上・設備概要							総合評価 スケッチ	健全度	施設全体の健全度
									A: 概ね良好 B: 部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし) C: 広域的に劣化 (安全上、機能上、不具合発生の恐れ) D: 緊急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に影響を与えている)									
									評価項目	仕上・設備概要	総合評価	健全度						
25	西校舎 管理・特別	R 2	1,106	1977	旧	済		1 屋根・屋上 アスファルト防水 (保護層なし) 2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 3 内部仕上 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 4 電気設備 電力設備・通信設備・受変電設備・屋外設備 5 機械設備 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備 6 躯体 N/㎡ ² 27.3 判定区分 N/㎡ ² ≧ 17.6 1 屋根・屋上 弾出防水 (塗膜防水) 2 外壁 コンクリート打放吹付塗装・アルミ製建具 3 内部仕上 フローリング・合版下地塗装・化粧PB 4 電気設備 電力設備・通信設備・屋外設備・水電光発電設備 5 機械設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備・屋内消火栓設備 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ² ≧ 17.6 ●	48	長寿命化 外壁改修工事 大規模改造工 事が必要。 ※1993年(平成5年)大規模改 造工事済み。 長寿命化 ・便所 (床排水口)、家庭科室 (排水トラップ) から汚水臭が 認められるので、日常の点検が 必要。 長寿命化 ・特になし。								
		26	中央校舎 管理・普通・特別	R 3	2,383	1999	新	—			1 屋根・屋上 鋼板瓦葺き 2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 3 内部仕上 フローリング・合版下地塗装・化粧PB 4 電気設備 電力設備・通信設備 5 機械設備 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ² ≧ 17.6 ●	64	長寿命化 外壁改修工事 大規模改造工 事が必要。					
27	屋内運動場	R 2	997	2002	新	—		1 屋根・屋上 ALC下地吹付塗装・アルミ製建具 2 外壁 漆床・モルタル下地塗装・ケイカル板下地塗装 3 内部仕上 フローリング・合版下地塗装・木毛貼現し 4 電気設備 電力設備・通信設備 5 機械設備 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ² ≧ 17.6 ●	64	長寿命化 屋上防水改 修、外壁改修 工事が必要。 長寿命化 ・特になし。								
		28	給食室	S 1	163	1989	新	—			1 屋根・屋上 鋼板瓦葺き 2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 3 内部仕上 フローリング・合版下地塗装・化粧PB 4 電気設備 電力設備・通信設備 5 機械設備 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ² ≧ 17.6 ●	61	長寿命化 屋上防水改 修、外壁改修 工事が必要。 長寿命化 ・特になし。					
								1 屋根・屋上 判定区分 N/㎡ ² 2 外壁 判定区分 N/㎡ ² 3 内部仕上 判定区分 N/㎡ ² 4 電気設備 判定区分 N/㎡ ² 5 機械設備 判定区分 N/㎡ ² 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ²										
								1 屋根・屋上 判定区分 N/㎡ ² 2 外壁 判定区分 N/㎡ ² 3 内部仕上 判定区分 N/㎡ ² 4 電気設備 判定区分 N/㎡ ² 5 機械設備 判定区分 N/㎡ ² 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ²										
								1 屋根・屋上 判定区分 N/㎡ ² 2 外壁 判定区分 N/㎡ ² 3 内部仕上 判定区分 N/㎡ ² 4 電気設備 判定区分 N/㎡ ² 5 機械設備 判定区分 N/㎡ ² 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ²										
								1 屋根・屋上 判定区分 N/㎡ ² 2 外壁 判定区分 N/㎡ ² 3 内部仕上 判定区分 N/㎡ ² 4 電気設備 判定区分 N/㎡ ² 5 機械設備 判定区分 N/㎡ ² 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ²										
								1 屋根・屋上 判定区分 N/㎡ ² 2 外壁 判定区分 N/㎡ ² 3 内部仕上 判定区分 N/㎡ ² 4 電気設備 判定区分 N/㎡ ² 5 機械設備 判定区分 N/㎡ ² 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ²										
								1 屋根・屋上 判定区分 N/㎡ ² 2 外壁 判定区分 N/㎡ ² 3 内部仕上 判定区分 N/㎡ ² 4 電気設備 判定区分 N/㎡ ² 5 機械設備 判定区分 N/㎡ ² 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ²										
								1 屋根・屋上 判定区分 N/㎡ ² 2 外壁 判定区分 N/㎡ ² 3 内部仕上 判定区分 N/㎡ ² 4 電気設備 判定区分 N/㎡ ² 5 機械設備 判定区分 N/㎡ ² 6 躯体 N/㎡ ² 判定区分 N/㎡ ²										
施設全体の延床面積 (㎡)				4,649	健全度の 算定方法	総合評価点 部位の コスト分配	A (100) B (75) C (40) D (10) 外壁 (5.1) 外壁 (17.2) 内部仕上 (22.4) 電気設備 (8.0) 機械設備 (7.3) 合計 (60.0)	施設全体の健 全度算定方法	施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積									




劣化度調査結果 (概要版)					施設整理番号 ⑥	施設名 米ノ津東小学校桂島分校	外観 	劣化度概要			施設全体の健全度	備考 (緊急対応項目) ・特になし。		
延床面積 (㎡)	階数	構造区分	劣化度	総合評価				総合評価	総合評価	総合評価				
29	269	1	W	1995	1995	米ノ津東小学校桂島分校	外観	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	C C B B B ●	61	劣化度概要 1 スレート瓦葺 2 サイディング張・アルミ製建具 3 フローリング・合板下地塗装・化粧P 4 電力設備・通信設備・屋外設備 5 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・浄化槽設備 6 調査対象外 判定区分 N/mm ² 木造	劣化度概要 1 スレート瓦葺 2 サイディング張・アルミ製建具 3 フローリング・合板下地塗装・化粧P 4 電力設備・通信設備・屋外設備 5 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・浄化槽設備 6 躯体 N/mm ² 判定区分 N/mm ² 木造	劣化度概要 1 スレート瓦葺 2 サイディング張・アルミ製建具 3 フローリング・合板下地塗装・化粧P 4 電力設備・通信設備・屋外設備 5 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・浄化槽設備 6 躯体 N/mm ² 判定区分 N/mm ² 木造	劣化度概要 1 スレート瓦葺 2 サイディング張・アルミ製建具 3 フローリング・合板下地塗装・化粧P 4 電力設備・通信設備・屋外設備 5 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・浄化槽設備 6 躯体 N/mm ² 判定区分 N/mm ² 木造
29	269	1	W	H7	新	米ノ津東小学校桂島分校	外観	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	C C B B B ●	61	劣化度概要 1 スレート瓦葺 2 サイディング張・アルミ製建具 3 フローリング・合板下地塗装・化粧P 4 電力設備・通信設備・屋外設備 5 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・浄化槽設備 6 躯体 N/mm ² 判定区分 N/mm ² 木造	劣化度概要 1 スレート瓦葺 2 サイディング張・アルミ製建具 3 フローリング・合板下地塗装・化粧P 4 電力設備・通信設備・屋外設備 5 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・浄化槽設備 6 躯体 N/mm ² 判定区分 N/mm ² 木造	劣化度概要 1 スレート瓦葺 2 サイディング張・アルミ製建具 3 フローリング・合板下地塗装・化粧P 4 電力設備・通信設備・屋外設備 5 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・浄化槽設備 6 躯体 N/mm ² 判定区分 N/mm ² 木造	



劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	⑦	施設名	切通小学校	評価基準	劣化度概要				施設全体の健全度	59	備考 (緊急対応項目)
通し番号	建物名	構造区分	階数						延床面積(m ²)	建築年度西暦	耐震安全性	診断補強			
30	中央校舎東 管理・普通・特別	R	2	274	1969	新築	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	露出防水(シート防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備・屋外設備 給排水衛生設備・空調換気設備 2.2.0 判定区分 N/m ² ≧17.6	D C B B A		46	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・屋上防水の損傷が認められる。
					1994	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備・屋外設備 給排水衛生設備・空調換気設備 調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	D C B B A		59	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・屋上防水の損傷が認められる。
					H6 24	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	露出防水(塗膜防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 ビニル床シート・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・空調換気設備 3.0.0 判定区分 N/m ² ≧17.6	C C B B B ●		61	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・特になし。
31	南校舎 管理・特別	R	2	78	1981	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・穴あき合板・断熱材吹付処理 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	C C B B B ●		64	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・特になし。
					S61 32	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	露出防水(塗膜防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 タイل・タイル・化粧PB 電力設備・通信設備・屋外設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	C C B B B ●		61	長寿命化 大規模改修工 事が必要。	・特になし。
					1994	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
32	校舎・屋内運動場	R	2	682	1986	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	C C B B B ●				
					S61 32	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 タイル・タイル・化粧PB 電力設備・通信設備・屋外設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	C C B B B ●				
					1994	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
33	給食コンテナ置場	R	1	48	1994	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
					H6 24	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
						新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
34	給食コンテナ置場	R	1	48	1994	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
					H6 24	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
						新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/m ²	調査対象外 判定区分 N/m ² ≧17.6	●				
施設全体の延床面積 (m ²)									健全度=総和(部位の総合評価点×部位のコスト分配)÷60			施設全体の健全度		施設全体の延床面積 ÷施設全体の延床面積	
1,681									D (10) 健全度=総和(部位の総合評価点×部位のコスト分配)÷60			施設全体の健全度			
施設全体の延床面積 (m ²)									部位のコスト分配 屋根・屋上(5.1) 外壁(17.2) 内部仕上(22.4) 電気設備(8.0) 機械設備(7.3) 合計(60.0)			施設全体の健全度			

劣化度調査結果(概要版)				施設名 ⑧	施設 基準	施設 概要	劣化度 概要	総合 評価	総合 評価 レーダー チャート	健全度	施設全体 の健全度	備考 (緊急対応項目)								
通し 番号	建物名	構造 区分	階 数										延床面積 (㎡)	建築 年度 経過年数 (年)	評価 基準		評価 項目		60	備考 (緊急対応項目)
															A:概ね良好 (安全上、機能上、問題あり)	B:部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし)	C:広域的に劣化 (安全上、機能上、問題あり)	D:緊急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり)		
35	南校舎	W	1	50	1966	耐震安全性		C	1 屋根・屋上	大波スレート葺(塗装)		45	長寿命化 構造体の供用限 界を明確にした 上での大規模改 造工事が必要。 ・特になし。							
	特別				52	診断補強			2 外壁	化粧鋼板張、アルミ製建具				6 躯体 N/mm ²	該当なし					
	3 内部仕上				フローリング・化粧合板・ケイカル板下地塗装	3 内部仕上			モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	4 電気設備				電力設備・通信設備						
36	中央校舎	S	1	297	1966	耐震安全性		C	1 屋根・屋上	大波スレート葺(塗装)		44	長寿命化 構造体の供用限 界を明確にした 上での大規模改 造工事が必要。 ・特になし。							
	普通・特別				52	診断補強			2 外壁	モルタル下地吹付塗装、アルミ製建具				6 躯体 N/mm ²	該当なし					
	3 内部仕上				フローリング・化粧合板・ケイカル板下地塗装	4 電気設備			電力設備・通信設備・屋外設備											
37	西校舎	W	1	114	1979	耐震安全性		C	1 屋根・屋上	7メンツ瓦葺		48	長寿命化 構造体の供用限 界を明確にした 上での大規模改 造工事が必要。 ・特になし。							
	管理				39	診断補強			2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				6 躯体 N/mm ²	該当なし					
	3 内部仕上				フローリング・化粧合板・化粧P.B	4 電気設備			電力設備・通信設備											
38	屋内運動場	R	1	500	2002	耐震安全性		B	1 屋根・屋上	鋼板瓦葺		75	長寿命化 漏水対策を施 し、計画的な 予防保全が必 要。 ・特になし。							
					16	診断補強			2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				6 躯体 N/mm ²	該当なし					
					39	診断補強			3 内部仕上	フローリング・化粧合板・化粧P.B				4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備					



劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	⑩	施設名	上場小学校	評価基準	劣化度概要		施設全体の健全度	45	備考 (緊急対応項目)
通し番号	建物名	階数	延床面積(m ²)						建築年度西暦	前年度西暦			
44	校舎 管理・普通・特別	R 2	566	1983	1983	新		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	露出防水(劣化防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備・屋外設備 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備 調査対象外 判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	D C C B B ●	46	・屋上防水の損傷が認められる。 ・庇裏のコンクリートの落下が認められる。 ・屋上ルーフトレインの排水機能障害が認められる。	
				1982	1982								1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²
45	屋内運動場	S 1	350	1983	1983	新		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	押出成形セメント板・アルミ製建具 モルタル・タイル・ケイカル板下地塗装 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備・厨房設備 調査対象外 判定区分 N/mm ² 鉄骨造	C C C B B ●	48	・特になし。	
				1983	1983								1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²
46	給食堂	S 1	40	1983	1983	新		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	大波スレート葺(塗装) 押出成形セメント板・アルミ製建具 モルタル・タイル・ケイカル板下地塗装 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備・厨房設備 調査対象外 判定区分 N/mm ² 鉄骨造	C C C B B ●	48	・特になし。	
				1983	1983								1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²



劣化度調査結果(概要版)				施設番号	施設名	高尾野小学校	外観	評価基準		劣化度概要		健全度	施設全体の健全度	78	備考 (緊急対応項目)
通し番号	建物名	構造区分	延床面積(m ²)					建築年度西暦	建設年度西暦	経過年数(年)	耐震安全性				
47	中央校舎 管理・特別	R 2	589	1968	1968	—		1 屋根・屋上	霧出防水(シート防水)	C	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 48	長寿命化 大規模改修工事が必要。 ※1991年(平成3年)大規模改修工事済み。	・屋上シート防水の劣化、破断、漏水、コンクリートの腐蝕、鉄筋の露出、発錆が認められる。 ※1991年(平成3年)大規模改修工事済み。		
				S43	—	2 外壁		モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C						
				50	—	3 内部仕上		フローリング・合板下地塗装・ケイカル板下地塗装	C						
48	東校舎 特別	R 2	606	1985	1985	—		4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 48	長寿命化 大規模改修工事が必要。	・特になし。		
				33	—	5 機械設備		給排水衛生設備・空調換気設備	B						
				1994	—	6 躯体 N/mm ²		判定区分N/mm ² ≧17.6	A						
49	西校舎 特別	W 1	180	1994	1994	—		1 屋根・屋上	霧出防水(シート防水)	C	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 77	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
				H6	—	2 外壁		モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B						
				24	—	3 内部仕上		フローリング・合板下地塗装・化粧PB	B						
50	南校舎西 普通	R 2	827	1999	1999	—		4 電気設備	電力設備・通信設備	B	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
				H11	—	5 機械設備		空調換気設備	B						
				19	—	6 躯体 N/mm ²		判定区分N/mm ² ≧17.6	B						
51	南校舎東 管理・特別	W 1	485	1999	1999	—		1 屋根・屋上	銅板ハセ置	B	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
				H11	—	2 外壁		モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B						
				19	—	3 内部仕上		フローリング・合板下地塗装・化粧PB	B						
52	北校舎 普通・特別	R 2	1,428	2014	2014	—		4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	A	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 100	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
				H26	—	5 機械設備		給排水衛生設備・空調換気設備	B						
				4	—	6 躯体 N/mm ²		判定区分N/mm ² ≧17.6	B						
53	屋内運動場	R 1	1,144	2003	2003	—		1 屋根・屋上	銅板ハセ置	A	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 86	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
				H15	—	2 外壁		モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B						
				15	—	3 内部仕上		フローリング・合板張・木毛板現し	A						
54	給食コンテナ置場	W 1	48	1992	1992	—		4 電気設備	電力設備・通信設備	B	総合評価 総合評価リーダーチャート 健全度 75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
				H4	—	5 機械設備		給排水衛生設備・換気設備・ガス設備	B						
				26	—	6 躯体 N/mm ²		判定区分N/mm ² ≧17.6	B						
施設全体の延床面積(m ²)				5,307	総合評価点 A(100) B(75) C(40) D(10) 健全度 = 総和(部位別総合評価点×部位のコスト分) ÷60		部位のコスト分配 屋根・屋上(5.1) 外壁(17.2) 内部仕上(22.4) 電気設備(8.0) 機械設備(7.3) 合計(60.0)		施設全体の健全度 = 総和(各施設の健全度×延床面積) ÷ 施設全体の延床面積		*施設全体の延床面積				


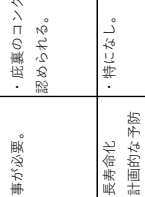

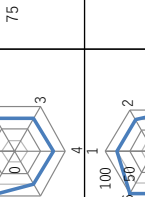

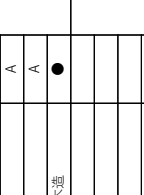

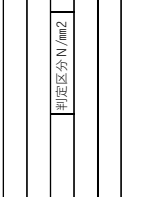


出水市学校施設等長寿命化計画

劣化度調査結果(概要版)		施設管理番号		⑫		施設名		下水流小学校		評価基準		劣化度概要		施設全体の健全度		60	
通し番号	建物名	構造区分	延床面積(m ²)	建築年度西暦	建築年度和暦	経過年数(年)	標準	高規格安全基準	診断補強	外観	評価項目	仕上・設備概要	総合評価	総合評価レーダーチャート	健全度	施設全体の健全度	備考(緊急対応項目)
55	北校舎 普通・特別	R 2	1,002	1983	S58	35	新	—	—		1 屋根・屋上 露出防水(シート防水)	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C		48	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ・屋上防水の損傷が認められ る。 ・バルコニーや広量のコンク リートの落下が認められる。	
				1993	H5	25	新	—	—	—	—	1 屋根・屋上 露出防水(シート防水)	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C		64	長寿命化 外壁改修工 事が必要。
56	南校舎 管理・特別	R 2	899	1999	H11	19	新	—	—		1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B		75	長寿命化 木部塗装改修 工事が必要。 ・特になし。	
				2002	H14	16	新	—	—	—	—	1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B		75	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。 ・木部塗装改修工事が必要。
57	東校舎 普通・特別	W 1	224	1988	S63	30	新	—	—		1 屋根・屋上 シングル葺	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C		64	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ・屋上排水溝及び窓底の防水 に雨水侵入に伴う膨れが認めら れる。 ・特になし。	
				1992	H4	26	新	—	—	—	—	1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 押出成形セメント板・アルミ製建具	C		64	長寿命化 木部塗装改修 工事が必要。
58	屋内運動場 給食コンテナ置場	R 2	797	1988	S63	30	新	—	—		1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C		64	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ・屋上排水溝及び窓底の防水 に雨水侵入に伴う膨れが認めら れる。 ・特になし。	
				1992	H4	26	新	—	—	—	—	1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 押出成形セメント板・アルミ製建具	C		64	長寿命化 木部塗装改修 工事が必要。
59	給食コンテナ置場	W 1	28	1988	S63	30	新	—	—		1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C		64	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ・屋上排水溝及び窓底の防水 に雨水侵入に伴う膨れが認めら れる。 ・特になし。	
				1992	H4	26	新	—	—	—	—	1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 押出成形セメント板・アルミ製建具	C		64	長寿命化 木部塗装改修 工事が必要。
60	給食コンテナ置場	W 1	28	1988	S63	30	新	—	—		1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C		64	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ・屋上排水溝及び窓底の防水 に雨水侵入に伴う膨れが認めら れる。 ・特になし。	
				1992	H4	26	新	—	—	—	—	1 屋根・屋上 鋼板ハゼ葺	2 外壁 押出成形セメント板・アルミ製建具	C		64	長寿命化 木部塗装改修 工事が必要。
施設全体の延床面積 (m ²)		3,214		総合評価点 A (100) B (75) C (40) D (10)		健全度=総和(部位の総合評価点×部位のコスト分配)÷60		部位のコスト分配 屋根・屋上(5.1) 外壁(17.2) 内部仕上(22.4) 電気設備(8.0) 機械設備(7.3) 合計(60.0)		施設全体の健全度		施設全体の健全度		施設全体の健全度		施設全体の延床面積	



劣化度調査結果 (概要版)			施設管理番号	(13)	施設名	施設安全基準	外観	劣化度概要			総合評価	総合評価リーダーチャート	健全度	施設全体の健全度	備考 (緊急対応項目)	
建物名	構造区分	延床面積 (㎡)						仕上・設備概要								総合評価
								評価項目	劣化度概要	総合評価						
61	南校舎 管理・普通・特別	1,271	建築年度西暦	1959	診断	補強済		1 屋根・屋上	塗装防水・大波スレート葺(カラー)	C		48	長寿命化 構造体の供用限界を明確にした上での大規模改造が必要。 ※1993年(平成5年)大規模改造工事済み。			
			2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				C								
			3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・ケイカル板				C								
4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B														
5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B														
6 躯体 N/㎡	10.7 判定区分N/㎡ < 13.5	C														
62	北校舎 普通・特別	978	建築年度西暦	1981	診断	済		1 屋根・屋上	塗装防水	C		48	長寿命化 大規模改造工事が必要。 ・軒裏のコンクリートの曝露、鉄筋の露出・鉄筋が認められる。 ・西側廊内部のコンクリートの曝露、鉄筋の露出・鉄筋が認められる。			
			2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				C								
			3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB				C								
4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B														
5 機械設備	給排水衛生設備・換気設備・ガス設備	B														
6 躯体 N/㎡	21.8 判定区分N/㎡ ≧ 17.6	A														
63	屋内運動場	437	建築年度西暦	1965	診断	済		1 屋根・屋上	鋼板瓦葺	B		91	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ・特になし。 ※2011年(平成23年)而震補強及び大規模改造工事済み。			
			2 外壁	鋼板サイディング葺・アルミ製建具				A								
			3 内部仕上	フローリング・化粧合板張・木毛版現し				A								
4 電気設備	電力設備・通信設備	B														
5 機械設備	給排水衛生設備	B														
6 躯体 N/㎡	調査対象外	●														
64	給食コンテナ置場	36	建築年度西暦	1981	診断	済		1 屋根・屋上	鋼板瓦葺	C		48	長寿命化 大規模改造工事が必要。 ・特になし。			
			2 外壁	鋼板サイディング葺・アルミ製建具				C								
			3 内部仕上	合板張・鋼板サイディング現し・野地板現し				C								
4 電気設備	電力設備	B														
5 機械設備	換気設備	B														
6 躯体 N/㎡	調査対象外	●														
施設全体の延床面積 (㎡)	2,722	2,722	健全度の算定方法	総合評価点 A (100) B (75) C (40) D (10) 健全度 = 総和 (部位の総合評価点 × 部位のコスト分配) ÷ 60	総合評価点	A (100) B (75) C (40) D (10)	外壁 (17.2)	内部仕上 (22.4)	電気設備 (8.0)	機械設備 (7.3)	合計 (60.0)	施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積	= 施設全体の延床面積			

劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	⑭	施設名	野田小学校	評価基準	劣化度概要				施設全体の健全度	備考 (緊急対応項目)
通し番号	建物名	階数	延床面積(m ²)						評価項目	仕上・設備概要	総合評価	総合評価リーダーチャート		
65	北校舎 普通・特別 遊り廊下を含む	R 2	1,465	建築年度西暦	1979	前震安全性 診断補強		1 屋根・屋上	アスファルト防水(保護層あり)	C		40	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ・屋上の防水の損傷が認められ る。・庇裏のコンクリートの落下 が認められる。・屋上、防水立上 り躯体の損傷が認められる。・屋 上ルーフトレインの排水機能障害 が認められる。	
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具			D						
				3 内部仕上	フローリング・合板下地塗装・化粧PB			C						
				4 電気設備	電力設備・通信設備・変電設備・屋外設備			B						
				5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・屋内消火栓設備			B						
				6 躯体 N/mm ²	26.9 判定区分N/mm ² ≧17.6			A						
66	南校舎 管理・普通・特別	R 2	1,375	建築年度西暦	1979	前震安全性 診断補強		1 屋根・屋上	露出防水(塗膜防水)	D		37	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ・屋上の防水の損傷が認められ る。 ・庇裏のコンクリートの落下が 認められる。	
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具			D						
				3 内部仕上	フローリング・合板下地塗装・化粧PB			C						
				4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備			B						
				5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備			B						
				6 躯体 N/mm ²	25.7 判定区分N/mm ² ≧17.6			A						
67	屋内運動場	R 1	919	建築年度西暦	2002	前震安全性 診断補強		1 屋根・屋上	御坂葺葺	B		75	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。 ・特になし。	
				2 外壁	コンクリート打ち放し及び木版・アルミ製建具			B						
				3 内部仕上	フローリング・合板下地塗装・野地板現し			B						
				4 電気設備	電力設備・通信設備			B						
				5 機械設備	給排水衛生設備・換気設備・屋内消火栓設備			B						
				6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² ≧17.6			●						
68	給食コンテナ置場	W 1	29	建築年度西暦	2013	前震安全性 診断補強		1 屋根・屋上	シングル葺	B		90	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。 ・特になし。	
				2 外壁	押出成形セメント板・アルミ製建具			B						
				3 内部仕上	ビニル床シート・外装付現し・野地板現し			A						
				4 電気設備	電力設備			A						
				5 機械設備	換気設備			A						
				6 躯体 N/mm ²	調査対象外 判定区分N/mm ² 未定			●						

施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積

施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × コスト分配) ÷ 60

施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × コスト分配) ÷ 60 + 60 (60.0)



通し番号	劣化度調査結果(概要版)			施設管理番号	⑮	施設名	出水中学校	外観	評価基準	劣化度概要				施設全体の健全度	備考 (緊急対応項目)		
	建物名	階数	延床面積(m ²)							仕上・設備概要							
										評価項目	総合評価	総合評価リーダーチャート	健全度				
69	南校舎 管理・普通・特別	R 2	1,851	建築年度西暦	1978	無	無		1 屋根・屋上	アスファルト防水(保護層あり)	C		48	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 ファンの損傷が認められる。			
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ建具				C								
				3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B				C								
70	東校舎 管理・特別 渡り廊下を含む	R 3	1,097	建築年度西暦	1979	無	無		1 屋根・屋上	露出防水(シート防水)	D				46	長寿命化 大規模改修工 事が必要。 屋上ルーフトレインの排水機能障害が認められる。	
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				C								
				3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B				C								
71	西校舎 特別	R 3	1,226	建築年度西暦	1994	新	-		1 屋根・屋上	鋼板折板葺・アスファルト防水(保護層あり)	C		61			長寿命化 屋上・屋根改 修工事、外壁 改修工事が必 要。	
				2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具				C								
				3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B				B								
72	中央校舎 管理・普通・特別 渡り廊下を含む	R 3	2,437	建築年度西暦	2013	新	-		1 屋根・屋上	鋼板葺	A				100	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。	
				2 外壁	コンクリート打放し吹付塗装・アルミ製建具				A								
				3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B				A								
73	部室	R 1	397	建築年度西暦	1993	新	-		1 屋根・屋上	露出防水(シート防水)	C		48			長寿命化 大規模改修工 事を検討する 時期。	
				2 外壁	コンクリート打放し吹付塗装・アルミ製建具				C								
				3 内部仕上	コンクリート・モルタル下地塗装・木毛版現し				C								
74	屋内運動場	R 1	992	建築年度西暦	1962	旧	済		1 屋根・屋上	鋼板折板葺	B				75	長寿命化 構造物の使用限 界を明確にした 上での計画的な 予防保全が必 要。 ※2009年(平成21年)耐震補強・ 大規模改修工事済み。	
				2 外壁	コンクリート打放し吹付塗装・アルミ製建具				B								
				3 内部仕上	フローリング・モルタル下地塗装・木毛版現し				B								
75	格技場	S 1	350	建築年度西暦	1990	新	-		1 屋根・屋上	カラー大波スレート葺	C		45			長寿命化 大規模改修工 事を検討する 時期。	
				2 外壁	成形吹付塗装・アルミ建具				C								
				3 内部仕上	フローリング・合板塗装仕上・断熱付現し				C								
76	給食室	S 1	250	建築年度西暦	1983	新	-		1 屋根・屋上	露出防水(シート防水)	D				46	長寿命化 大規模改修工 事を検討する 時期。 屋上ルーフトレインの排水機能障害が認められる。	
				2 外壁	A L C下地吹付塗装・アルミ製建具				C								
				3 内部仕上	漆喰・モルタル下地塗装・ケイカル板下地塗装				C								
施設全体の健全度										総合評価	施設全体の健全度	施設全体の健全度	施設全体の健全度			施設全体の健全度	
施設全体の延床面積(m ²)										8,600	総合評価	施設全体の健全度	施設全体の健全度			施設全体の健全度	施設全体の健全度
算定方法										総合評価	施設全体の健全度	施設全体の健全度	施設全体の健全度			施設全体の健全度	
部位のコスト分配										A (100) B (75) C (40) D (10)	健全度	総合評価	施設全体の健全度	施設全体の健全度	施設全体の健全度		
部位のコスト分配										屋根・屋上(5.1) 外壁(17.2) 内部仕上(22.4) 電気設備(8.0) 機械設備(7.3) 合計(60.0)	健全度	総合評価	施設全体の健全度	施設全体の健全度	施設全体の健全度		

通し番号	劣化度調査結果 (概要版)				施設整理番号	⑬	施設名	米ノ津中学校	外観	評価基準	劣化度概要						施設全体の健全度	施設全体の健全度	50	備考 (緊急対応項目)					
	建物名	構造区分	階数	延床面積 (㎡)							建築年度西暦	前年度西暦	基準	診断補強	安全	劣化度概要									
																評価項目					仕上・設備概要	総合評価	総合評価レダチャート	健全度	
77	中央校舎	R	4	3,089	1966	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	塗膜防水 (下地アスファルト防水保護層あり)	C		48	長寿命化 構造体の使用限界を明確にした上で、他の施設への上での大規模改修工事が必要。	・屋上コンクリート手掘、バラ ベットの柱木の損傷が認められ、 危険な状態。 ※1990年 (平成2年) 大規模改 修工事済み。									
					S41	旧	済	2 外壁		モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C														
					52	旧	済	3 内部仕上		フローリング・モルタル・ケイカル板下地塗装	C														
78	東校舎	W	1	1966	前年度西暦	済	済		4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B														
				S41	旧	済	5 機械設備		給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・屋外消火栓設備	B															
				52	旧	済	6 躯体 N/mm ²		15.3 判定区分 N/mm ² ≧ 13.5	B															
79	南校舎	R	2	1970	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	セメント瓦葺	C		48	長寿命化 構造体の使用限界を明確にした上で、継続利用や、他の施設への統合・廃止を検討。	・特になし。										
				S45	旧	済	2 外壁		繊維羽子板・アルミ製建具	C															
				48	旧	済	3 内部仕上		フローリング・化粧合板・化粧PB	C															
80	屋内運動場	R	1	1974	前年度西暦	済	済		4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B														
				S49	旧	済	5 機械設備		給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B															
				44	旧	済	6 躯体 N/mm ²		26.0 判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	A															
81	格球場	S	1	1988	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	鋼板瓦葺	C		58	長寿命化 屋根改修工事な ど劣化状況に合 わせた改修工事 が必要。	・特になし。 ※2005年 (平成17年) 大規模 改修工事済み。										
				S63	新	済	2 外壁		モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B															
				30	新	済	3 内部仕上		フローリング・合板塗装仕上・木甲板現し	C															
82	給食室	S	1	1982	前年度西暦	済	済		4 電気設備	電力設備・通信設備	B						61	長寿命化 屋上・屋根改 修工事、外壁 改修工事が必要。	・外部引込み開閉器盤の新しい 調子が認められる。						
				S57	新	済	5 機械設備		給排水衛生設備	B															
				36	新	済	6 躯体 N/mm ²		17.6 判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	B															
82	給食室	S	1	1982	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	調査対象外	●														
									2 外壁	大破スレート葺 (カラ)	C														
									3 内部仕上	サイディング張・アルミ製建具	C														
									4 電気設備	電力設備・通信設備	B														
									5 機械設備	給排水衛生設備	B														
									6 躯体 N/mm ²	調査対象外	●														
82	給食室	S	1	1982	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	調査対象外	●														
									2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C														
									3 内部仕上	塗膜・モルタル・ケイカル板下地塗装	B														
									4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B														
									5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・厨房設備	B														
									6 躯体 N/mm ²	調査対象外	●														
82	給食室	S	1	1982	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	調査対象外	●														
									2 外壁	調査対象外	●														
									3 内部仕上	調査対象外	●														
									4 電気設備	調査対象外	●														
									5 機械設備	調査対象外	●														
									6 躯体 N/mm ²	調査対象外	●														
82	給食室	S	1	1982	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	調査対象外	●														
									2 外壁	調査対象外	●														
									3 内部仕上	調査対象外	●														
									4 電気設備	調査対象外	●														
									5 機械設備	調査対象外	●														
									6 躯体 N/mm ²	調査対象外	●														
82	給食室	S	1	1982	前年度西暦	済	済		1 屋根・屋上	調査対象外	●														
									2 外壁	調査対象外	●														
									3 内部仕上	調査対象外	●														
									4 電気設備	調査対象外	●														
									5 機械設備	調査対象外	●														
									6 躯体 N/mm ²	調査対象外	●														
施設全体の延床面積 (㎡)										健全度 = 総和 (部位の総合評価点 × 部位のコスト分配) ÷ 60						施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積									
6,039										A (100) B (75) C (40) D (10)						60.0									
部位のコスト分配 屋根・屋上 (5.1) 外壁 (17.2) 内部仕上 (22.4) 電気設備 (8.0) 機械設備 (7.3) 合計 (60.0)																									



出水市学校施設等長寿命化計画

劣化度調査結果 (概要版)				施設番号	⑬	施設名	大川内中学校	評価基準	劣化度概要				施設全体の健全度	備考 (緊急対応項目)	
建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度西暦						耐震安全性	診断補強	外観	評価項目			仕上・設備概要
84	校舎	R 2	1,447	1970	旧	済		A: 概ね良好 B: 部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし) C: 広域的に劣化 (安全上、機能上、不具合発生の見し) D: 早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	露出防水 (塗膜防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備・屋外設備 給排水衛生設備・空調換気設備 判定区分 N/mm ² ≧17.6	C C C B B A	 100 60 50 40 30 20 10 0	48	・屋上エキスパンションジョイント ト部ほかから雨水が認められる。 内部エキスパンションジョイントの形成が不完全であり損傷が認められる。 ・内部梁コンクリートの損傷、鉄筋の発錆が認められる。 ※1991年 (平成3年) 大規模改造工事済み。 ・バスケットゴールの耐震強化が必要と認められる。 ※2011年 (平成23年) 大規模改造工事済み。 ・料になし。	
85	屋内運動場	S 1	513	1971	旧	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	サイディング張・アルミ製建具 フローリング・化粧塗装仕上・木毛版現し 電力設備・通信設備 給排水衛生設備 判定区分 N/mm ² 鉄骨造	B B B B B ●	 100 60 50 40 30 20 10 0	75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。		
86	格技場	W 1	193	1973	旧	—		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	リア化粧鋼板・アルミ製建具 フローリング・化粧合板・合板塗装仕上 電力設備・通信設備 給排水衛生設備 判定区分 N/mm ² 木造	B C C B B ●	 100 60 50 40 30 20 10 0	51	長寿命化 利用目的を明確にした上で大規模改造工事が必要。		
87	給食コンテナ置場	W 1	13	1970	旧	—		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	大波スレート葺 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 モルタル・合板・ケイカル板下地塗装 電力設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 判定区分 N/mm ² 木造	C C C B B ●	 100 60 50 40 30 20 10 0	48	長寿命化 大規模改造工事が必要。		
施設全体の健全度									$\frac{\text{施設全体の健全度} = \text{総和 (各施設の健全度} \times \text{延床面積)}}{\text{施設全体の延床面積}}$			$\frac{\text{施設全体の健全度} = \text{総和 (部位の総合評価点} \times \text{部位のコスト分配)}}{60}$		$\frac{\text{施設全体の健全度} = \text{総和 (各施設の健全度} \times \text{延床面積)}}{\text{施設全体の延床面積}}$	
施設全体の延床面積 (㎡)									2,166			合計 (60.0)			




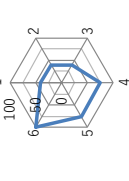

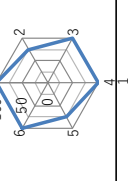

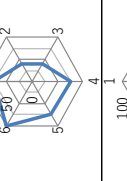

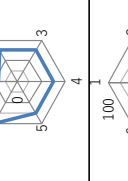

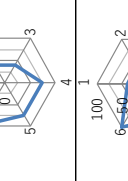

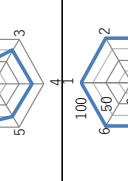

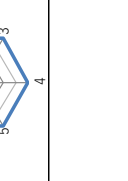
劣化度調査結果(概要版)			施設整理番号	⑬	施設名	高尾野中学校	評価基準	劣化度概要		健全度	施設全体健全度	66	備考 (緊急対応項目)
建物名	構造区分	延床面積(m ²)						評価項目	仕上・設備概要				
88	北校舎 管理・特別	R 2	700	建築年度西暦	旧	済	1 屋根・屋上	塗装防水(アスファルト防水保護層下地)	C	44		長寿命化 構造体の供用限界を明確にした上での大規模改修工事が必要。 ※1988年(昭和63年)大規模改修工事済み。	
				2 外壁			モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
				3 内部仕上			フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B	C					
				4 電気設備			電力設備・通信設備・屋外設備	C					
				5 機械設備			給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² <13.5	C					
89	南校舎1 普通・特別	R 2	1,082	建築年度西暦	旧	済	1 屋根・屋上	塗装防水(アスファルト防水保護層下地)	C	48		長寿命化 構造体の供用限界を明確にした上での大規模改修工事が必要。 ※1988年(昭和63年)大規模改修工事済み。	
				2 外壁			モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
				3 内部仕上			フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B	C					
				4 電気設備			電力設備・通信設備	B					
				5 機械設備			給排水衛生設備・換気設備・ガス設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² <13.5	C					
90	南校舎2 特別	R 2	591	建築年度西暦	新	-	1 屋根・屋上	霧出防水(シート防水)	C	72		長寿命化 屋根改修工事が必要。 ・特になし。	
				2 外壁			モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B					
				3 内部仕上			フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B	B					
				4 電気設備			電力設備・通信設備・屋外設備	B					
				5 機械設備			給排水衛生設備・換気設備・ガス設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² ≧17.6	●					
91	南校舎3 特別	R 1	187	建築年度西暦	新	-	1 屋根・屋上	霧出防水(シート防水)	C	61		長寿命化 屋上・屋根改修工事・外壁改修工事が必要。 ・特になし。	
				2 外壁			モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
				3 内部仕上			フローリング・モルタル下地塗装・化粧P B	B					
				4 電気設備			電力設備・通信設備	B					
				5 機械設備			給排水衛生設備・換気設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² ≧17.6	●					
92	中央校舎 管理・普通・特別	R 3	1,586	建築年度西暦	新	-	1 屋根・屋上	アスファルト防水(保護層あり)	B	84		長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ・特になし。	
				2 外壁			モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B					
				3 内部仕上			フローリング・羽目板・クロス・化粧P B	A					
				4 電気設備			電力設備・通信設備・太陽光発電設備	B					
				5 機械設備			給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備・雨水排水設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² ≧17.6	●					
93	屋内運動場	R 2	1,355	建築年度西暦	新	-	1 屋根・屋上	鋼板葺	B	75		長寿命化 屋根改修・外壁改修工事を検討する時期。 ・特になし。	
				2 外壁			モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	B					
				3 内部仕上			フローリング・合板・合板・木毛板現し	B					
				4 電気設備			電力設備・通信設備	B					
				5 機械設備			給排水衛生設備・換気設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² ≧17.6	●					
94	格技場	S 1	422	建築年度西暦	新	-	1 屋根・屋上	鋼板葺	C	48		長寿命化 大規模改修工事を検討する時期。 ・特になし。	
				2 外壁			A L C下地吹付塗装・アルミ製建具	C					
				3 内部仕上			フローリング・合板・木毛板現し	C					
				4 電気設備			電力設備・通信設備・屋外設備	B					
				5 機械設備			給排水衛生設備・換気設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² ≧17.6	●					
95	給食コンテナ置場	W 1	26	建築年度西暦	新	-	1 屋根・屋上	瓦葺	B	64		長寿命化 外壁改修工事を検討する時期。 ・特になし。	
				2 外壁			鋼板サイディング張・アルミ製建具	C					
				3 内部仕上			合板張・化粧合板張・野地板現し	B					
				4 電気設備			電力設備	B					
				5 機械設備			換気設備	B					
				6 躯体 N/m ²			判定区分N/m ² 未造	●					
施設全体の延床面積(m ²)		5,949		健全度の算定方法	総合評価点 A (100) B (75) C (40) D (10) 健全度 = 総和(部位の総合評価点×部位のコスト分) ÷ 60		施設全体の健全度 = 総合(各施設の健全度×延床面積) ÷ 全延床面積		合計 (60.0)		施設全体の延床面積		

劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	②0	施設名	江内中学校	評価基準	劣化度調査結果		総合評価	総合評価レダチャート	健全度	施設全体の健全度	61	備考 (緊急対応項目)
建物名	階数	延床面積(m ²)	建築年度西暦						耐震安全性	診断補強						
96	中央校舎	R 2	1,127	1988	旧	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	アスファルト防水(保層層なし) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備・変電設備・屋外設備 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C C B B A		48	長寿命化 構造体の供用限界を明確にした上ででの大規模改造工事が必要。	・軒部モルタルの剥離・鉄筋の露出が認められる。軒裏の塗装の剥離、漏水あと、鉄骨支柱の錆びが認められる。柱型の躯体の損傷が認められる。 ・屋外投光線用安定器類の著しい錆びが認められる。 ※1991年(平成3年)大規模改造工事済み。 ・特になし。		
	管理・普通・特別			50				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C B B B A		61	長寿命化 屋上・屋根防水 水改修工事、 外壁改修工事が必要。	・軒裏塗装の剥離・鉄筋の露出が認められる。		
97	東校舎	R 2	422	1980	旧	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C B B B A		61	長寿命化 屋上・屋根防水 水改修工事、 外壁改修工事が必要。	・軒裏塗装の剥離・鉄筋の露出が認められる。		
	特別			38				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C B B B A		61	長寿命化 屋上・屋根防水 水改修工事、 外壁改修工事が必要。	・軒裏塗装の剥離・鉄筋の露出が認められる。		
98	西校舎	R 2	270	1986	新	—		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C B B B ●		57	長寿命化 屋上・屋根防水 水改修工事、 外壁改修工事が必要。	・特になし。		
	特別 渡り廊下を含む			32				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備・ガス設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C B B B ●		57	長寿命化 屋上・屋根防水 水改修工事、 外壁改修工事が必要。	・特になし。		
99	南校舎	R 2	310	1991	新	—		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C B B B ●		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
	特別			27				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・モルタル下地塗装・化粧PB 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	C C B B B ●		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	・特になし。		
100	屋内運動場	R 2	903	2005	新	—		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	鋼板ハネ葺 モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・合板塗装仕上・木毛板現し 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	B B B B B ●		75	長寿命化 屋根改修・外壁改修工事を検討する時期。	・特になし。		
	特別			13				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	鋼板瓦葺 A L C 下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・合板塗装仕上・木毛板現し 電力設備・通信設備 給排水衛生設備・換気設備 判定区分N/mm ² ≧17.6	B B B B B ●		75	長寿命化 屋根改修・外壁改修工事を検討する時期。	・特になし。		
101	格技場	S 1	361	1994	新	—		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	瓦葺 鋼板サイディング張・アルミ製建具 合板張・合板張・木毛板現し 電力設備 換気設備 判定区分N/mm ² 未定	C C C B B ●		48	長寿命化 外壁改修工事を検討する時期。	・特になし。		
	特別			24				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	瓦葺 鋼板サイディング張・アルミ製建具 合板張・合板張・木毛板現し 電力設備 換気設備 判定区分N/mm ² 未定	C C C B B ●		48	長寿命化 外壁改修工事を検討する時期。	・特になし。		
102	給食コンテナ置場	W 1	23	1988	新	—		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	瓦葺 鋼板サイディング張・アルミ製建具 合板張・合板張・木毛板現し 電力設備 換気設備 判定区分N/mm ² 未定	C C C B B ●		48	長寿命化 外壁改修工事を検討する時期。	・特になし。		
	特別			30				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	瓦葺 鋼板サイディング張・アルミ製建具 合板張・合板張・木毛板現し 電力設備 換気設備 判定区分N/mm ² 未定	C C C B B ●		48	長寿命化 外壁改修工事を検討する時期。	・特になし。		
施設全体の延床面積 (m ²)								3,416	健全度の算定方法				施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 60			
部位のコスト分配								22.4	健全度の算定方法				施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 60			
部位のコスト分配								5.1	健全度の算定方法				施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 60			
部位のコスト分配								7.3	健全度の算定方法				施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 60			
部位のコスト分配								5.0	健全度の算定方法				施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 60			
部位のコスト分配								60.0	健全度の算定方法				施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 60			



劣化度調査結果(概要版)				施設管理番号	(21)	施設名	野田中学校	外観	評価基準	劣化度概要				施設全体の健全度	備考
通し番号	建物名	構造区分	延床面積(m ²)							建築年度西暦	建設年度西暦	耐震安全性	診断基準		
103	北校舎1 特別	R	818	1968	S43	旧	済	済	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	霧出防水(シート防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 ビニル床タイル・モルタル・ケイカル系下地塗装 電力設備・通信設備・受変電設備・屋外設備 給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	判定区分N/mm ² ≧17.6	A		51	長寿命化 大規模改修工事が必要。 ※1986年(昭和61年)屋上防水改修工事済み。
				1966	S41	旧	済	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	霧出防水(シート防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 ビニル床シート・PB下地塗装・PB下地塗装 電力設備・通信設備・屋外設備 給排水衛生設備・空調換気設備	判定区分N/mm ² ≧13.5	B		51	長寿命化 大規模改修工事が必要。 ※1986年(昭和61年)屋上防水改修工事済み。	
				1989	H元	新	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	シングル葺 木板張塗装仕上・アルミ製建具 カーペット・穴あき合板・システム天井 電力設備・通信設備 空調換気設備	調査対象外	●		61	長寿命化 屋根改修工事、外壁改修工事が必要。	
105	北校舎2 特別	S	424	1996	H8	新	—	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	木板張塗装仕上・アルミ製建具 カーペット・穴あき合板・アルミ製建具 電力設備・通信設備 給排水衛生設備 調査対象外	判定区分N/mm ² 未定	B		64	長寿命化 木部塗装改修工事が必要。
				1986	S61	新	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	霧出防水(塗膜防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・穴あき合板・吹付塗装現し 電力設備・通信設備 給排水衛生設備	判定区分N/mm ² ≧17.6	●		61	長寿命化 大規模改修工事が必要。	
				2013	H25	新	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	シングル葺 押出成形セメント板・アルミ製建具 ビニル床シート・外装材現し・野地版現し 電力設備 換気設備	判定区分N/mm ² 未定	●		92	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	
107	屋内運動場	R	962	1986	S61	新	—	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	霧出防水(塗膜防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・穴あき合板・吹付塗装現し 電力設備・通信設備 給排水衛生設備	判定区分N/mm ² 未定	●		61	長寿命化 大規模改修工事が必要。
				2013	H25	新	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	シングル葺 押出成形セメント板・アルミ製建具 ビニル床シート・外装材現し・野地版現し 電力設備 換気設備	判定区分N/mm ² 未定	●		92	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	
				5	—	—	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	調査対象外	判定区分N/mm ² 未定	●		—	・特になし。	
108	給食コンテナ置場	W	29	1986	S61	新	—	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	霧出防水(塗膜防水) モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具 フローリング・穴あき合板・吹付塗装現し 電力設備・通信設備 給排水衛生設備	判定区分N/mm ² ≧17.6	●		61	長寿命化 大規模改修工事が必要。
				2013	H25	新	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	シングル葺 押出成形セメント板・アルミ製建具 ビニル床シート・外装材現し・野地版現し 電力設備 換気設備	判定区分N/mm ² 未定	●		92	長寿命化 計画的な予防保全が必要。	
				5	—	—	—	1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備	調査対象外	判定区分N/mm ² 未定	●		—	・特になし。	
施設全体の延床面積(m ²)										3,848	総合評価点 A(100) B(75) C(40) D(10) 健全度 = 総和(部位の総合評価点×部位のコスト分配) ÷60		施設全体の健全度 = 総和(各施設の健全度×延床面積) ÷ 施設全体の延床面積		
施設全体の延床面積(m ²)										3,848	総合評価点 A(100) B(75) C(40) D(10) 健全度 = 総和(部位の総合評価点×部位のコスト分配) ÷60		施設全体の健全度 = 総和(各施設の健全度×延床面積) ÷ 施設全体の延床面積		

劣化度調査結果(概要版)				施設整理番号	②	施設名	施設学園	評価基準	劣化度概要		施設全体の健全度	66	備考 (緊急対応項目)	
通し番号	建物名	階数	延床面積(m ²)						建築年度西暦	建築年度西暦経過年数(年)				耐震安全性
109	南校舎	R 2	992	1971	旧	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	B		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1995年(平成7年)大規模改修工事済み。
	特別			47				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	A		60	長寿命化 外壁改修工事が必要。
110	北校舎	R 2	437	1995	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	B		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
	管理・普通・特別 渡り廊下を含む			23				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	C		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
111	屋内運動場	S 1	490	1985	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	B		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
	特別			33				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	C		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
112	北校舎	R 2	711	1967	旧	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	B		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
	特別			51				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	C		75	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
113	南校舎	R 2	529	1988	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	B		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
	特別			30				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	C		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
114	屋内運動場・クラブ ハウス	R 1	918	1992	新	済		1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	B		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
	特別			26				1 屋根・屋上 2 外壁 3 内部仕上 4 電気設備 5 機械設備 6 躯体 N/mm ²	28.8	判定区分 N/mm ² ≧ 17.6	C		61	長寿命化 計画的な予防保全が必要。 ※1996年(平成8年)大規模改修工事済み。
施設全体の延床面積 (m ²)									4,077	健全度 = 総和 (部位の総合評価点 × 部位のコスト分配) ÷ 60		施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積		
施設全体の延床面積 (m ²)									4,077	健全度 = 総和 (部位の総合評価点 × 部位のコスト分配) ÷ 60		施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積		

劣化度調査結果(概要版)		施設整理番号	②A	施設名	出水市立幼稚園	評価基準	劣化度概要						施設全体健全度	備考 (緊急対応項目)
建物名	構造区分						階数	延床面積(m ²)	評価項目	仕上・設備概要	総合評価	総合評価レダチャート		
1	西出水小学校附属築翠幼稚園	R	1	1982	新	前震安全性 基準 診断 補強		1 屋根・屋上	露出防水(モルタル防水)	C		48	長寿命化 大規模改造工 事が必要。	・特になし。
								2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C				
								3 内部仕上	塩ビシート・モルタル下地塗装・化粧PB	C				
								4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B				
								5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B				
								6 躯体 N/mm ²	調査対象外	判定区分N/mm ² ≧17.6				
2	東出水小学校附属幼稚園	W	1	2005	新	前震安全性 基準 診断 補強		1 屋根・屋上	サイディング瓦葺	A		89	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。	・特になし。
								2 外壁	フロアリング張・アルミ製建具	B				
								3 内部仕上	フロアリング・合板・合板	A				
								4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	A				
								5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B				
								6 躯体 N/mm ²	調査対象外	判定区分N/mm ² 不造				
3	米ノ津小学校附属幼稚園	R	1	203	新	前震安全性 基準 診断 補強		1 屋根・屋上	露出防水(モルタル防水)	B		51	長寿命化 大規模改造工 事が必要。	・特になし。
								2 外壁	モルタル下地吹付塗装・アルミ製建具	C				
								3 内部仕上	塩ビシート・モルタル下地塗装・化粧PB	C				
								4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B				
								5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B				
								6 躯体 N/mm ²	調査対象外	判定区分N/mm ² ≧17.6				
4	米ノ津小学校附属幼稚園	W	1	420	新	前震安全性 基準 診断 補強		1 屋根・屋上	瓦葺	C		72	長寿命化 屋根・木部塗 装改修工事が 必要。	・特になし。
								2 外壁	木板張・アルミ製建具	B				
								3 内部仕上	フロアリング・合板・合板	B				
								4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B				
								5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B				
								6 躯体 N/mm ²	調査対象外	判定区分N/mm ² 不造				
5	切通小学校附属幼稚園	S	1	110	旧	前震安全性 基準 診断 補強		1 屋根・屋上	銅板瓦葺	C		48	長寿命化 屋根・外壁・ 建具改修工 事が必要。	・特になし。
								2 外壁	ALC板張・アルミ製建具	C				
								3 内部仕上	フロアリング・化粧合板・化粧PB	C				
								4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B				
								5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B				
								6 躯体 N/mm ²	調査対象外	判定区分N/mm ² 不造				
6	鶴荘学園附属幼稚園	S	1	180	旧	前震安全性 基準 診断 補強		1 屋根・屋上	ALC板張・アルミ製建具	C		61	長寿命化 構造体の供用限 界を明確にした 上での改修工 事が必要。	・外壁の破損が認められる。 ・基礎の破損が確認され る。
								2 外壁	ALC板張・アルミ製建具	C				
								3 内部仕上	フロアリング・ケイカル板・化粧PB	B				
								4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	B				
								5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	B				
								6 躯体 N/mm ²	調査対象外	判定区分N/mm ² 鉄骨造				
7	野田小学校附属幼稚園	W	1	346	新	前震安全性 基準 診断 補強		1 屋根・屋上	サイディング張・アルミ製建具	A		100	長寿命化 計画的な予防 保全が必要。	・特になし。
								2 外壁	フロアリング張・アルミ製建具	A				
								3 内部仕上	フロアリング・化粧合板・化粧PB	A				
								4 電気設備	電力設備・通信設備・屋外設備	A				
								5 機械設備	給排水衛生設備・空調換気設備・ガス設備	A				
								6 躯体 N/mm ²	調査対象外	判定区分N/mm ² 不造				
施設全体の延床面積 (m ²)							2,228							施設全体の健全度 = 総和 (各施設の健全度 × 延床面積) ÷ 施設全体の延床面積
施設全体の健全度							60.0							施設全体の健全度 = 総和 (部位の総合評価点 × 部位のコスト分配) ÷ 60
部位のコスト分配							22.4							内部仕上 (22.4) 電気設備 (8.0) 機械設備 (7.3) 合計 (60.0)